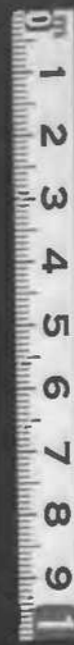


畧譜

七

今村 板倉 伊沈 希岡

岩上 生鴻 飯室 板橋



二百一冊内

現共十九

庫	文	閣	内
五	二	三	和
六	二	六	書
四	二	六	
八	冊	號	類
架			

七

内閣文庫	
番號	和 36088
冊數	211(7)
函號	156 17

六

畧譜

七

今村 板倉 伊沈 市岡

岩上 生鶴 飯室 板橋

二百一冊内

現共十五

庫	文	閣	内
五	三		和
六	二		書
留	六		
八	冊	號	類
架	七	不	

内閣文庫
番號 和 36088
冊數 211(7)
函號 156 17

12
370

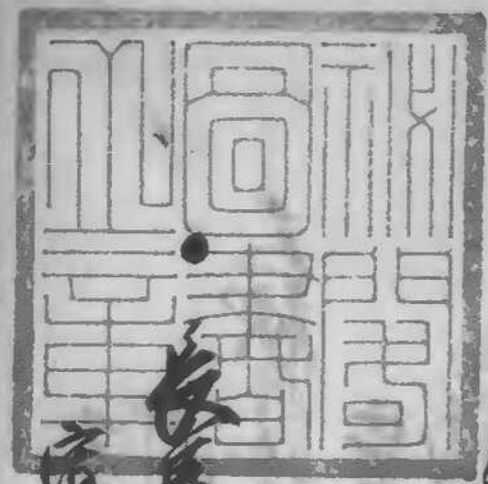
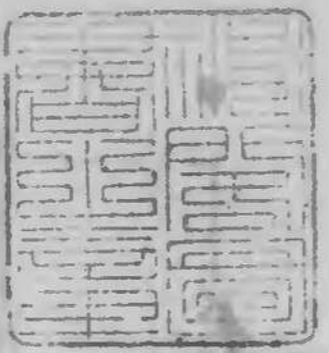
今村平藏三郎 心算

高直十依

家故九丁美

上三九丁美

記録御用所



今村氏
家故九丁美
上三九丁美
高直十依
心算
平藏三郎

官



寛文元年
心算
平藏三郎

高直十依

12
370

三
村
山
園



有
好

多
百
六
十
依

家
故
九
丁
美
成

上
三
九
丁
美
成

記
録
御
用
所

有
好
氏
家
故
九
丁
美
成
上
三
九
丁
美
成

有
好
氏
家
故
九
丁
美
成

有
好



有
好

有
好
氏
家
故
九
丁
美
成

家
故
九
丁
美
成

上
三
九
丁
美
成

万安二五年甲子
河内郡流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

古風
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

長道

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年
乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

乙卯流石。先乙卯流石。因乙卯年

長子 初年...

長次

寶曆五年十月十九日

...

...

宝曆五年三月
二月山物...
年七月七日
發動一件...
日二年七月十日
...

仙洞...
四月十日...
六月廿七日...
...

今三行...
...

長理...

寶曆四年...
...

女子 長理...

如子

長子...

今三及... 六月廿七... 今三及... 六月廿七... 今三及... 六月廿七...

今三及... 六月廿七... 今三及... 六月廿七... 今三及... 六月廿七...

長理

今村家

寛政四年... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

女子 長理妻

隠居佛心

女子

長理子

女子

早世

女子

...

中尾

初子

孫

女

長孫

早世

早世

早世

...

...

...

源姓

...

今村

...

...

...

...

...

...

今村

...

...

...

母 言之

寛文九年壬午十二月十九日
弟百目屋の御室
御書清木の本和十三年八月七日
十月廿一年六月七日
乙卯年六月廿七日
乙卯年六月廿七日

二月廿五日
年四月二十日

今村半七郎

常憲院極出元孫元西后年二月
卷母
実母
素
小依子

○室永早命元年一月廿百家智少書信○月
年十二月十日大里書○正任二正后年七月
十六日病死方後年有右位左大臣年葬地不知若川之兵守葬

正方

今村半七郎 江原太

母 少作中江少江命少江之孫女

妻 紫田中江少江命少江之孫女

父能原孫氏正任二正后年九月廿百家智少書
信○享保己正美年八月二日割江少書信○

月九甲辰年八月廿中府勤書九月廿百
家智少書信○寛延元辰辰年十二月廿百
辰○室磨之全享年二月廿百家智少書信
甲辰辰年光亨村以國守少書信

信保 少作中江少江命少江之孫女

少作中江少江命少江之孫女

正反 今村家智少書

女子 正美年八月廿中府勤書九月廿百家智少書信

めくれず

甲辰知由
母 宋田助左衛門勝則女

今妻

将位源氏代官正元丙辰年二月百家智

甲辰勸告の家曆之書自年二月百家智初九

法之書水之字年二月百家智の月日未

年十二月百病死の指七是年丙辰年二月未

今村乙女見乙女

甲辰知由
今妻
甲辰知由
今妻

美分村幸七郎乙女
今村乙女

今妻

今妻

今妻

乙未乙女年二月百家子○西水乙女年

三月乙女年甲辰知由○寛政二年未年

乙未乙女年八月乙女死乙未乙女

女子
小幡乙女
今妻
東辰乙女
今妻

正章 今村平藏 勘定場

母 伊井江島門前久女 守邊河津様

妻 小幡次郎花直守長女

寛政二年亥年七月廿七日自家智甲府勘定番

正吉 今村長太郎

正清 今村秀吉

正久 今村権藏

廿八日直守一ノ巻中

中五

藤原家

本村何村能はる秀もしと成行
中終り又村秀とてり村長連守
秀のの代村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守
世多を今村秀とてり村長連守

勝長

今村秀長

藤原姓

今村

三十三石 弘安 藤原の九石 花柳道

法寺府將軍秀郷十郎代今村派入序

秀道末流

永正十三年三河國崇徳りて以後

清康系（居居多） 東照宮（居居） 天正十七年三月十九日

織田原正左衛門秀元
秀元は相模川義元居る所を破らんや
 義元は相模川に下りて居る所を破らんや
 秀元は相模川に下りて居る所を破らんや
 秀元は相模川に下りて居る所を破らんや
 附 織田原正左衛門秀元

唐忠君清感ありて褒賞と給く。○永祿
 三年六月織田信長今川義元合戦の時
 東照宮人之城小築りしに兵糧乏
 加之勝長計と一夜中不糧米と城中小運
 依之城名性命と全し。由清感あり。○
 東照宮初之岡崎城小入りしに外之勝長り

天正三年六月大坂の陣
 余北平在りしに同族の某
 信りて我田所をりしに
 天正三年、余春の八月月也
 信りて我田所をりしに
 天正三年、余春の八月月也
 信りて我田所をりしに

大高の功と賞とられ兼地と給ふ
 永祿八年十一月酒井將監より上野の城と参り
 是の時城中より移りて矢と村出勝長城
 跡小踏止矢数多櫓へ射あみしに城中
 手負多城と明て退よりて敵より矢と勝
 長と賜ふ。岡崎全道一様起りしに
 是の時あり。後人其地平在道としは我田
 原志と通し。信長と三州へ入んと

謀ふす勝長公之

東照公小若より別勝長小命して平定街の上

誅と先らふ徳賞とて加秩あり

○十八年京都小枝りと給ひし以八年先きぬハ

あひて波はと若りしより勤勞ありて

武苑乃國量為親小塚原小て赤色と給ひ

○交長六年六月死八十一歳後名信吉三河國信吉の菅之

小葬

再訂
未詳
天正三年六月長條
合戦のし我印を命
よんたのり

重長

初め卯 九郎三郎 長之丞

文龜元年十好葬して 伝康若小姓

と打りし 伝康若決給ひし後

東照文御小姓御膳長とてふ。三河國島流

りて黒柳甚茂といふもの一揆と起ると

企しつら長波甚茂を捕て時十多九年

之功と賞とりれて甚茂り赤色及賊室

元和元年
一 今村
○東照公の御成敗
○徳川氏の御成敗
○徳川氏の御成敗

とま長小治ふ。後湯使満生が。長久の
合戦の時平松合次郎が兵衛合次郎今村
九市三浦永見新右衛門と本村口重長平丸と名
あり

東照公沙蔵ありて御成敗の後赤地と加へ
治く。何れも。○城の東及大由。○城の
御成敗と。○城の東及大由。○城の
生害の時換使と。○城の東及大由。○城の

○の使小市。○の使小市。○の使小市。
○の使小市。○の使小市。○の使小市。
○の使小市。○の使小市。○の使小市。
○の使小市。○の使小市。○の使小市。

對馬の御成敗。○同二年二月八日。○同二年二月八日。
乃戦切と。○同二年二月八日。○同二年二月八日。
三年正月十一日。○同二年二月八日。○同二年二月八日。
○寛永二年九月二日。○同二年二月八日。○同二年二月八日。

今村
○同二年二月八日。○同二年二月八日。○同二年二月八日。
○同二年二月八日。○同二年二月八日。○同二年二月八日。
○同二年二月八日。○同二年二月八日。○同二年二月八日。

とて長小治ふ。後、後使満生が。○長久也
○十二年
合戦の時平松合次郎多兵衛合次郎今村
九郎左衛門永見新右衛門と相成りし事
あり

東照文涉感ありて、御返陳の後赤地と加へ

治くふ。○援手、東及大坂、西及の
御陳りし後、ひしりし。○戦功あり。秀頼
生害の時、後使と。井伊掃部頭安友

元和元年六月、後使の
○東照文涉感ありて、御返陳の後赤地と加へ
○援手、東及大坂、西及の
御陳りし後、ひしりし。○戦功あり。秀頼
生害の時、後使と。井伊掃部頭安友

元和元年六月、後使の

○元和元年六月、後使の
○東照文涉感ありて、御返陳の後赤地と加へ
○援手、東及大坂、西及の
御陳りし後、ひしりし。○戦功あり。秀頼
生害の時、後使と。井伊掃部頭安友

○寛永二年九月二日赤地御判別とりし事
○同日赤地御判別とりし事
○同日赤地御判別とりし事

元和元年六月、後使の

正長

信正師

如左馬次郎かたまたりょうの如く
台徳院たいとくゐんの御書ごしよに依りて
元和元年げんわげんねんの御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

首長
一
一
一

元和元年
御書
信正師

△
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

台徳院たいとくゐんの御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて
御書ごしよに依りて

二條の前のやまのり
しやうしやうの首娘小八を坂と記しつゝは如何

小思ふやあふと出舞あり正長寺時宗の

首娘まゝんと云ふ物よりあつたのまふとやまごころうらうら判の

首娘まゝんより来りしやうしやうの首娘まゝんは青娘

小八まゝんはしやうしやうの首娘まゝんは青娘

を伴成友のつゝ燭ととゞと記しつゝ

くはこれぬ板成割のとも小思ふを在り

と記しつゝ河のり○和歌 村身水見部在連ま成

振をしてもみ成ありとされし軍法と背

き一と八腹切ししをさし人定ふかひ

父を長洋福と記しつゝと依りしやう

依成る物とをりしつゝとまをさし何ぞ

成りしやうとありしつゝと成のともなれ

つゝとありしつゝと八節とをりしつゝ

とありしつゝと海つる魚とをりしつゝ

長洋福とありしつゝと洋福と

長洋福とありしつゝと洋福と

めくれず

清軍令とありし 新右衛門の清兵ありて 此後マシとあり 別は統了と	及く 清軍令とありし 新右衛門の清兵ありて 此後マシとあり 別は統了と	及く 清軍令とありし 新右衛門の清兵ありて 此後マシとあり 別は統了と	及く 清軍令とありし 新右衛門の清兵ありて 此後マシとあり 別は統了と
---	---	---	---

在津原及清兵ありて

七十七

陣に後洋物と書道ひ正長り今友の働者致
 と思ふに信女これ担秩あると信らるる合
 子二百あると歎^た。同年十二月朔日西九
 東照交小洋物をた坂のくの戦功信女これ
 一友乃をい子と思ふゆにたり正長の義
 とま^んしとのことなれハ極京よりハ海より
 一騎當千とい海ありとす志とあそ
 いし^ると宣ひ^しに^て信女^は信女^とあそ

東武 卷四
 元和六年三月十日
 今村信之守一石見
 今村信之守一石見
 今村信之守一石見
 今村信之守一石見

○元和六年二月廿六日相國宣旨上田月日
 乙卯六月廿七日
 同九年正月所使也。同九月
 大猷院及所上御之儀奉一還りて相時大井川
 大井川小依之令谷守河川城の役事大井人
 と上連馬りて川向く東後川の浅深委
 云と云正長と下相をなると相と云れ難ん
 川と流りと流る。同年冬上院國東令へ

嘉善

寛永元年の事
 四月十日
 寛永元年の事
 四月十日

後家見永四年
 下田奉行
 下田奉行

十年長所
 十年長所
 十年長所
 十年長所

所取寄の附宿割の事と有り。寛永元年
 六月大坂城石垣修築より相時四月
 彼地小百日滞留。同二年七月廿六日
 御判物に相時。同二年四月
 年九月父老死。もれハ上院領地
 十石と有。今二二石六百石
 相月八日伊豆國下田の奉行
 年二月十日。相時。長崎奉行。相時。兼意二

東武 卷四
元和六年三月十日
今村信直一死
今村信直一死
今村信直一死
今村信直一死
今村信直一死

○元和六年二月廿六日
乙卯六月廿七日
同九年正月
大猷院及河上
大猷院及河上
大猷院及河上
大猷院及河上
大猷院及河上

寛永元年

寛永元年の事
寛永元年の事
寛永元年の事
寛永元年の事
寛永元年の事

後家元永四年
下田奉行
下田奉行
下田奉行
下田奉行

十年長河
十年長河
十年長河
十年長河
十年長河

河板野の時宿刺の事と有り
六月大坂城石垣築
彼此小百日滞留
御判札
年四月父を
十石と
正月八日
年二月十日

寛文十一年三月十日
寛文十一年三月十日
寛文十一年三月十日

下ヶ札

年二月廿六日倭豆園下田丸官邸小死年六十
六下谷官立小森

侍三席 侍方

正成

寛永十年三月十日
元和六年僅小十歳

大猷流及小澤得。後川に西直定たりお百と

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

東武定録

寛永十年三月十日

寛永十年三月十日

寛永十年三月十日

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

寛永十年三月十日
寛永十年三月十日
寛永十年三月十日

同年八月十一日
七月十日

寛文十一年三月十日
寛文十一年三月十日
寛文十一年三月十日

めくれず

又家譜川に記すと云ふは...
下河内...
又云...
又云...

下ヶ丸

年二月廿六日伊豆國下田に官邸小死年六十
六下谷官立小葬

心成

侍三席 侍方

元和六年僅小十氣川

大猷流及小洋得。後川に西直...
重備十三

寛永十年三月...
十二月廿二日...
初七日...
二十日...

寛永十年三月...
十二月廿二日...
初七日...
二十日...

寛永十年三月...
十二月廿二日...
初七日...
二十日...

又家譜川に記すと云ふは...
下河内...
又云...
又云...

日蓮...
妻八世氏...
...
...
...

元和六年...
大猷流...
...

女子 侍三席...
...

女子 侍三席...
...

母六某氏 二子...
...

延宝六年七月十二日...
同八月十一日...
...

父の...
天和三年七月十日...
...

又家譜川に記すと云ふは...
下河内...
又云...
又云...

又...
...
...

又...
...
...

年二月廿八日停豆園下田丸官邸小死年六十
下ケ札

正成

侍三席 清方

元和六年僅小十氣...
大猷流及小澤...
...
寛永十年三月...
十二月...
初...
...

日蓮...
...

大猷流...
...
...
...

母...
...
...

...

めくれず

源氏一死年四十二歳子小孫七嗣引く家絶
妻八永井は居りて女

女子

新見七重の位義くま

今村侍より御詳

今村今を所某

今村今を所某
元禄八年七月未共
常憲侯殿より
六月十一日
五月十一日
二月十一日
一月十一日
十一月十一日
十月十一日
九月十一日
八月十一日
七月十一日
六月十一日
五月十一日
四月十一日
三月十一日
二月十一日
一月十一日

東照公御遺言
元禄八年七月未共
常憲侯殿より
六月十一日
五月十一日
二月十一日
一月十一日
十一月十一日
十月十一日
九月十一日
八月十一日
七月十一日
六月十一日
五月十一日
四月十一日
三月十一日
二月十一日
一月十一日

東照公御遺言
元禄八年七月未共
常憲侯殿より
六月十一日
五月十一日
二月十一日
一月十一日
十一月十一日
十月十一日
九月十一日
八月十一日
七月十一日
六月十一日
五月十一日
四月十一日
三月十一日
二月十一日
一月十一日

李壽

李廣 兵助

東市三郎
元禄三年
元禄二年

女子
新田
〇法名曰若
猶之死年比十二國子小葬之嗣之成絶
妻ハ永井氏女ト云ルノ由

Handwritten text in a grid format, likely a genealogical or archival record. The text is written in cursive and organized into columns and rows within rectangular frames.

高永姓
今村
今村長...
高四百石 佐藤氏
家紋 土藤の丸太紋

河内

母之

東郷

右衛門

Vertical handwritten text on the left side of the document, providing additional context or details.

Vertical handwritten text at the bottom left corner.

大敵後極代大敵後極代正保二年

以今百病死氣少心正保二年守妻

妻八松年居妻昌利一子

正時 今村十兵衛

功傳花

妻八松年居妻昌利一子
正時 今村十兵衛
功傳花

正時

昌利女

實母石川木東解重次女

妻 先 勲在事申女

正時 今村十兵衛 功傳花

康貞流極代正保二年

年正保二年正保二年正保二年

正則 今村十兵衛

功傳花

妻每先勲在事申女

實母今村十兵衛正時女

妻 申 勲在事申女

正時 今村十兵衛 功傳花

正時 今村十兵衛 功傳花

大敵は極大に及ぶ法地... 正保二年
 四月五日病死... 正保二年
 妻、松平右衛門昌利之女

正時
 母、松平右衛門昌利女
 父、今村十兵衛
 功傳花

其、今村信房... 正保二年...
 石川八重... 正保二年...
 大敵... 正保二年...
 正時... 正保二年...
 母、松平右衛門昌利女
 父、今村十兵衛
 功傳花

正時
 母、松平右衛門昌利女
 父、今村十兵衛
 功傳花

正則
 母、松平右衛門昌利女
 父、今村十兵衛
 功傳花

實母、今村十兵衛正時女
 妻、中津藩全右衛門中津女

正時
 母、松平右衛門昌利女
 父、今村十兵衛
 功傳花

○其、今村信房... 正保二年...
 二、其、今村信房... 正保二年...

其、今村信房... 正保二年...
 石川八重... 正保二年...
 大敵... 正保二年...
 正時... 正保二年...

家督山重信（一） 治承七年四月廿七日
九年辰年一月辰日病歿（二） 治承八年正月
女子 美門院信子（三） 京妻

心央（トサ） 今村信房 平六郎 才次郎

養母山重信今重門下道女
美今村十信門下道女
京妻新田山重門下道女

美多門下道女今重門下道女今重門下道女

常憲院極代宣承二年閏二月廿七日
○月七辰年十一月廿七日宣承二年閏二月廿七日
宣承二年十月九日病歿（四） 宣承二年十一月廿七日
宣承二年十一月廿七日

心英 今村信房 功平院

母新久七重門下道女
京妻

百法院極代宣承二年十一月廿七日

宣承二年十一月廿七日

曾信の月廿九日子年三月廿七日病死十九年

守之

早稲白
美利己

今村

今

長

卷母

家母

妻 長信 長徳院 中瑞氏女

後妻 織田市十郎信守女

百徳院極決年月日之知卷子○享保六年

年三月廿九日自家智山寺信○同十六年

二月廿九日住持○同十九甲寅年二月十九日

兼信之御孫將就江戶川小鶴之御孫月

五日○同信守之御孫○同年三月九日進西書

○同廿九年三月廿九日葛田御孫成之御

孫人○同田中御孫御孫留 還信之御

孫人○同清原之御孫御孫留之御

元文九年十月廿一日
今日少兒九百枚之調法
自内自多多如居五八日
十月廿一日

河原田留夫之孫 以續之山百三好村留之孫
 山原田留夫之孫 以續之山百三好村留之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫

山原田留夫之孫 以續之山百三好村留之孫

今村長之孫 幼頼每 守平郎

長政

卷母織田市平市信守女
 実母安女
 妻 長文長洋女

元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫
 元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫

元文九年十月廿一日 山原田留夫之孫

同日二年
 三月廿一日
 元文

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

葬

女子二人

今村長左衛門長政妻
長左衛門長政妻

今村長左衛門
長左衛門長政妻

知石 長治郎

和祥

今村長左衛門長祥女

家女

長政女

長政妻

女子
知祥妻

知祥
長政妻

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

天保三年九月
十月廿九日病歿
于二十五日
○同六乙丑年十二月廿九日病歿于二十五日

壬午年 卯
三月
八日
入
天保八年
十

元正四年十月十日
上
長

女子

美八 承見

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

頼重 好重 勝重 重

壬午年 卯
三月
八日
入
天保八年
十

今村

今村

長久

東

若

東
若
通

女子

若

和
九

大正七年十月十日
 大正七年十月十日
 大正七年十月十日

大正七年十月十日
 大正七年十月十日

大正七年十月十日
 大正七年十月十日

大正七年十月十日
 大正七年十月十日

大正七年十月十日
 大正七年十月十日
 大正七年十月十日

信俊

大正七年十月十日
 大正七年十月十日

大正七年十月十日
 大正七年十月十日

頼重 好重 勝重 重宗 重卿

板倉圓房の勝談家

重昌 重規

重良 重種

内膳勝家 重永祐勝喜家

重直

重良

重親助勝家

於理勝家

子他勝家

大正七年十月十日
 大正七年十月十日

大正七年十月十日
 大正七年十月十日

土師重由奉朝
 入道公...
 大傳...
 十...

元正元年十月十

上...
 下...

元...

元...

如...

美...
 寛永...
 大...
 元...

信俊

幸年...

一...
 一...
 一...
 一...

頼重 好重 勝重 重宗 重卿

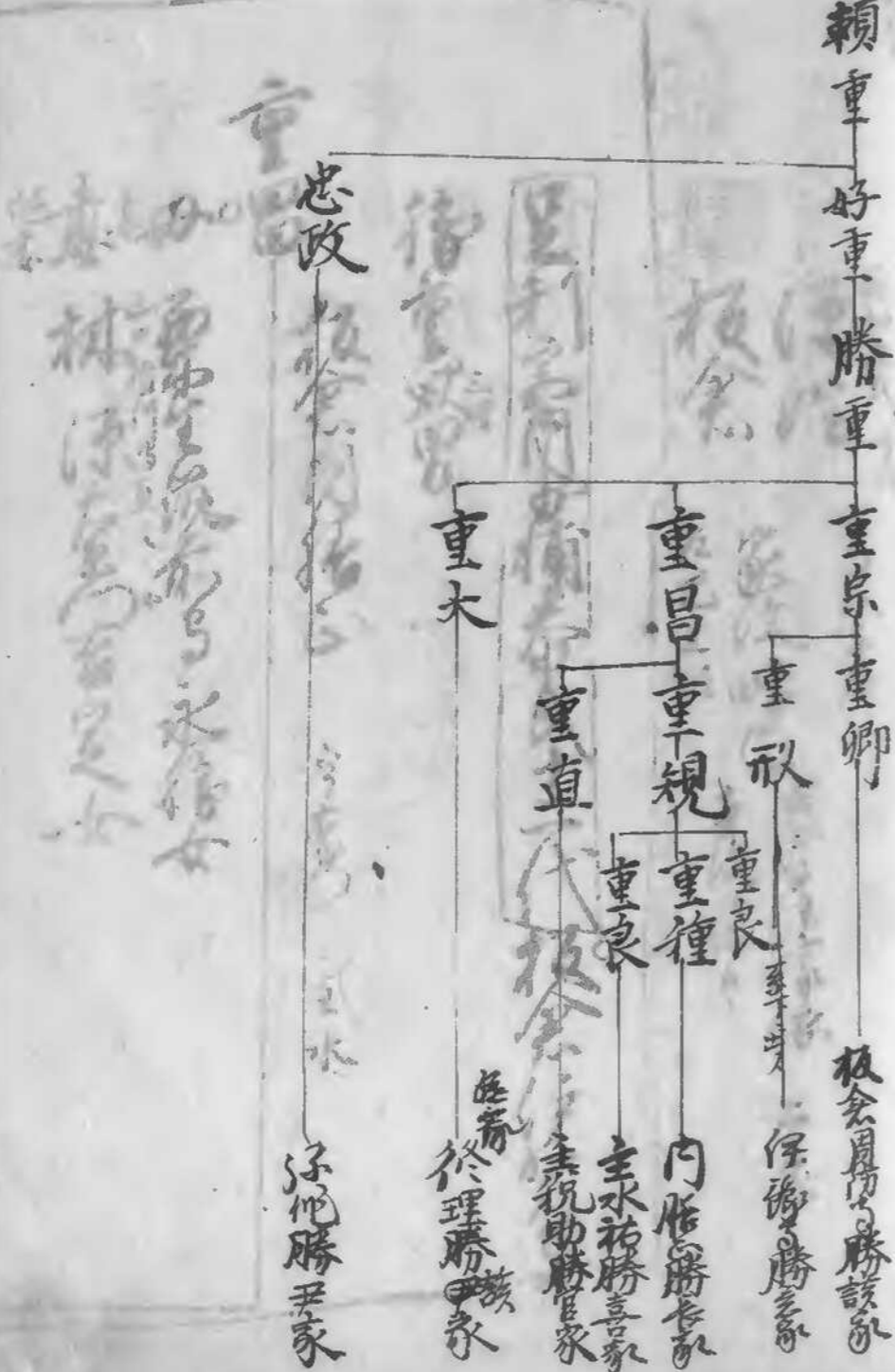
重良 任後勝家

重昌 重規 内佐勝家

重直 重良 主水祐勝喜家

重太 重直 美祝助勝家

忠政 孫他勝家



板倉 氏傳 附官

板倉



板倉

源性

昭和傳氏 重頼

多八子石

家茂略也 左巴之改

道有隆輝傳

上意

皇利之有由補奉氏十二代板倉伊守

後重好男

板倉内膳正

守意

之水

重昌

母 重生 源左衛門 吉定 女

陳... 氏... 傳... 官... 氏... 傳... 官...

源性

重六

重算

重敏

重信

重

板倉... 氏... 傳... 官...

重矩

板倉内膳心

重直

母 梅澤右馬守重直女

妻 福原福津守重直女

板倉内膳心 幼基之弟 限坂安房

大猷院極楽院代寛永十六戊寅年六月廿七日

亡父平昌守重直中書省用印地中書省

此重直之印地也 福永年平昌守

其長子昌頂我信

信成縁 河原中平重直之直也 後平昌守

河原中平守

三河國額田郡海邊村

子貳百三拾貳石七斗七升

家内訖全可領知者也 河原

慶長九年九月九日御書

板倉内膳心

八

玉國抄録

貞長公之孫也

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

高橋守下人

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

高橋守下人

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

高橋守下人

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

高橋守下人

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

高橋守下人

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

高橋守下人

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

高橋守下人

伊勢守先出香好

二枚所長子 貞長公之孫也

△寛政三年六月五日
伊藤殿

○正保二年戊午之夏長崎港に舟出
燈籠一基獻備。慶安四年甲午八月廿日
政府より九月五日品所。○正保三年
六月七日朝鮮人來り。○正保三年正月廿日
降見。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
増上守火。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日

リニシ
寛政三年六月五日
伊藤殿

△寛政三年六月五日

二月紀。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日
○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日。○正保三年正月廿日

同日舟中病歿
初七日
...

上向病歿○天和元年九月九日重直
物按余因独心程判列 山光通書江
以片々々々々々○月二戊午二月十日
因法西程身歿○万石同重直
...

二月廿日隱居乳津松尾社行休
...

女子	某	重直	重直女	重直女	重直女	重直女
...

重直女
重直女
重直女
重直女
重直女
重直女
重直女
重直女

山内
...
...

丁卯年上三ノ月
日七ノ日
...

治長因事一日判發安身。自學元...
二月十日隱居元礼...
...

三ノ馬代。同日卯年...
...

女子

某

十命喜

早世

女子

重種

仲重通

去原次

...

...

...

...

重寛

重直の妻

重寛

...

...

...

...

...

重徳女
重絶女
重直女

成年七月二日卷子

△同年六月廿九日
丁卯年 丁卯年
丁卯年 丁卯年
丁卯年 丁卯年

土高病欠○天和元年正月九日重連
招板金内様正程判列 以先通書以
以片々之志○同日二戌年二月十日板金
内様正程判列 以先通書以
是清之御分持任以板金之志
志之志以御分持任以板金之志
治長同方、自利板友身○自享元甲子年
治長同方、自利板友身○自享元甲子年

治長同方、自利板友身○自享元甲子年
治長同方、自利板友身○自享元甲子年

斗内月廿六日病死二十
以村長國守之新

美之志之志之志之志
板金様好子 功多祝

重行 功多祝

養母 稻垣播磨守重徳女
實母 板金内様正程判列
妻 漢口御守守直直女

常高屋様代天和二年七月廿日卷子

天和三年五月
天和三年五月
天和三年五月

明治六年の事
十月の事

明治六年

二月 三月 四月

五月 六月 七月

八月 九月 十月

十一月 十二月

明治六年の事
十月の事
十一月の事
十二月の事

○月年七月日自始 沖月日見○月之委吏

年 十月日自始 ○月日自始 年七月日自始

○月日自始 年七月日自始 ○月日自始

○月日自始 年七月日自始 ○月日自始

○月日自始 年七月日自始 ○月日自始

○月日自始 年七月日自始 ○月日自始

○月日自始 年七月日自始 ○月日自始

○月日自始 年七月日自始 ○月日自始

○月日自始 年七月日自始 ○月日自始

月二日水戸 上使日○月日自始府○

家水二角成年二月日自始府○月日自始

年二月日自始府○月日自始府○月日自始

九月日自始府○月日自始府○月日自始

朝鮮人本府自始府○月日自始府○月日自始

十月日自始府○月日自始府○月日自始

体○月日自始府○月日自始府○月日自始

乙未年一月日自始府○月日自始府○月日自始

全三枚の綴二枚あり

女子

宣和二年八月廿八日
府の同年八月廿八日
元徳二年三月廿八日
甲辰年三月廿八日
乙酉年三月廿八日
上意の同年三月廿八日
乙未年三月廿八日

勝音

板倉敏俊
知事 甚高 芳子
神重元 重音 勝友

母 清江町守子直直女

妻 板倉園房守重之女

常憲院極楽院院主二年六月十日功山月

凡の宣和九年八月廿八日家銘宗令
日十七巳年九月十日院信守

崇源院極楽院院主宣和二年八月十日
甲申年二月廿八日院信守
年宣和五年八月二十日院信守

漢書地理志云文安縣在平陽之西○月
 六庚申年正月十日消沒○同年二月十九日
 先被襄陽○所劫○自出火紀修復甚急○火所
 以所留于長○年宣中○意○月十日
 如法○江○河○月十日○布衣○寬
 保○年宣○年宣○月十日○布衣○寬
 同年三月十日○法○文○河○月十日○布衣○寬
 年六月十日○病○死○在○月十日○布衣○寬

正順 子承美後子 瑞如

宣保元年十一月十日
 子承美後子

勝香 板倉芳力 幼事高師 浪石連海

母板倉國房子重女
 子承美

有德溪極代運享元亨子年九月八日有見初
 ○同日卯年八月十日有見板倉德經昭
 德中子長 敬中子長 敬中子長 敬中子長
 通名和○月六日○月年九月○日家會
 分合○竟正元成在年十月有漢京○日
 ○月○年○年○月○日府加○堂唐元年
 本年九月五日有見○月○日府○日○年
 年十二月二日病死○日○連海○日八
 幸以○

一 未以○

戊寅年一月十日病死○日○連海○日八

勝庭 板倉三氏

見物者○子

如子

板倉三氏

勝庭

母家女
 素板倉正勝義妹
甲斐守勝子之女童傭

(Faint bleed-through text from the reverse side)

後妻 右左直女

享信院極代室曆己甲戌年四月廿日亥子

○日六乙未年三月十日亥時辰刻生○同年九月

廿八日初旬清目見○月八甲寅年一月廿九日

漢書口門書目十辛巳年八月廿日卯刻○以

和元甲申年九月九日辰時生

月先院極代室曆己甲戌年四月廿日亥子

甲子年十一月廿日火酒没○同年十二月八日

布衣○同乙丑年二月廿九日同乙丑年二月廿九日亥刻生
 氏姓清防侍河内月同乙丑年二月廿九日亥刻生
 女永元乙丑年十二月廿日病死之後系内
 年五歲

用遊子
 女子 死者室著極徳其扶助 幼右直女
 其母早世
 甲子 甲子年三月廿日亥時辰刻生
 甲子 向和元甲寅年改徳之書
 甲子 乙丑年四月廿日亥時辰刻生
 甲子 乙丑年四月廿日亥時辰刻生

後妻 与左澄治与友直女

博信院極代家曆己甲戌年八月廿日有女子

○日六乙未年三月十日家替与右○同年有

女八日初白淨日身○月八甲寅年八月廿九日

淨言日乙未年三月十日家替与右○同年有

和元甲申年九月十九日有胎語与守

月光院極代乙酉年三月廿日有胎語与守

甲子年十一月廿日有胎語○同年十二月八日

甲子○同乙丑年二月廿九日有胎語与守

乙丑消胎侍月廿九日有胎語与守

乙丑消胎侍月廿九日有胎語与守

乙丑消胎侍月廿九日有胎語与守

胎養 叔余之扶助 知石甚幸

母 与左澄治与友直女

胎養 叔余之扶助 知石甚幸

河内勝尹家

忠 相 友 友

○寛永
○元禄
○享和

寛永十二年三月五日... 元禄元年... 享和元年... 忠 相 友 友

皇統

拾遺中十三年市正統下

忠 友

山内 河内 忠 友

安永二癸己亥二月七日家督

八戊申年十二月二十日

二庚申年一月五日

大日

女子

河内 忠 友 家 督 忠 友

安永 八代中

安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申

安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申

重冬 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 板倉源氏 安永三年十月朔日 五拜 申 申

河内勝子家

安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申

安永

安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申

忠

安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申
 安永三年十月朔日 五拜 申 申

安永

安永三年十月朔日 五拜 申 申

安永三年十月朔日 五拜 申 申

安永三年十月朔日 五拜 申 申

安永

延享三年三月二十三日
 六月九日
 七月三日
 八月十日
 九月十七日
 十月二十四日
 十一月十一日
 十二月十八日
 一、延享三年三月二十三日、知州御中より、
 一、延享三年六月十日、
 一、延享三年八月十日、
 一、延享三年十月十日、
 一、延享三年十二月十日、

法皇御樹
 皇太后御樹
 皇太子御樹
 皇孫御樹
 皇女御樹
 皇弟御樹
 皇妹御樹
 皇孫女御樹
 皇孫弟御樹
 皇孫妹御樹
 皇孫弟女御樹
 皇孫弟妹御樹
 皇孫弟妹女御樹
 皇孫弟妹女御樹

勝彦 西の住
 皇太后御樹
 皇太子御樹
 皇孫御樹
 皇女御樹
 皇弟御樹
 皇妹御樹
 皇孫女御樹
 皇孫弟御樹
 皇孫妹御樹
 皇孫弟女御樹
 皇孫弟妹御樹
 皇孫弟妹女御樹
 皇孫弟妹女御樹

延享三年三月二十三日
 六月九日
 七月三日
 八月十日
 九月十七日
 十月二十四日
 十一月十一日
 十二月十八日
 一、延享三年三月二十三日、知州御中より、
 一、延享三年六月十日、
 一、延享三年八月十日、
 一、延享三年十月十日、
 一、延享三年十二月十日、

源氏勝尹家



源氏
 板倉

高百歳老人技者
 家故九三巴 九曜巴

延和天皇の公皇利成親大輔重國
 六代重顯の正建國板倉郷板倉
 為号

相重

八右衛門

忠政

源氏重清

板倉八右衛門重清

安永

三

法名原樹
妻二枚余伴總書重國り中

南
是陽年春也

勝後 西の住理

妻二枚余伴總書重國り中
是陽年春也
勝後 西の住理
妻二枚余伴總書重國り中
是陽年春也
勝後 西の住理

寛政
十三年

湯尾勝尹家



源姓
板倉

家紋 九三巴 九曜巴

遠祖天竺公公足利或欲有補而國
三代義顯氏上建國板倉郷板倉氏

相重

公右邊

忠政

源氏家譜

板倉八右衛門形三男

貞正年月不知

於現存中身所許... 〇

忠服

抄本

初編

正和元年... 御前

西九月... 後園

本改... 病免

西井... 散

平... 散

北... 〇

於... 〇

病... 〇

御... 〇

西... 〇

年... 〇

〇... 〇

〇... 〇

〇... 〇

加... 〇

加... 〇

又中平山江津浦津口也其山夫之原
 亦多有谷田等下平之田其田之入物物
 加雜和勒田及後天等田也其田也
 之者中平田等中平之田也其田也
 兼以名田等中平之田也其田也
 注系取第府府右之原雅樂院及
 大炊介殿伊候也中平之田也其田也
 之者中平田等中平之田也其田也
 之者中平田等中平之田也其田也

畠中平原和原在津口也其田也
 田夫等中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也
 中平之田也其田也

臣公乃於勸修院にて御侍其長は後
 仁道回文有在邊りて申す候へば花回文集
 支記の仁道修りて長は後持守人持持院
 及び花回文今へ札自今札を後長
 札に後持守りて在持院修りて長は後人
 持持りて不長は後りて御侍有毎月
 御持持方有持持院修りて長は後人
 申す候方有申す候方有御侍有
 持持りて不長は後りて御侍有毎月

臣公乃於勸修院にて御侍其長は後
 仁道回文有在邊りて申す候へば花回文集
 支記の仁道修りて長は後持守人持持院
 及び花回文今へ札自今札を後長
 札に後持守りて在持院修りて長は後人
 持持りて不長は後りて御侍有毎月
 御持持方有持持院修りて長は後人
 申す候方有申す候方有御侍有
 持持りて不長は後りて御侍有毎月

△延元元年 疾重 乞請 永承 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰

永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰

永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰

忠正

誓 永 承 乞 請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰

永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰

忠祐

誓 永 承 乞 請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰

野 水

永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰 永承 乞請 恩 命 允 准 仍 令 醫 治 詔 曰

忠尚 上野 松本油漬屋信 初市吉吏

忠尚

元禄五年三月三日
忠尚
初市吉吏

貞享五年五月廿八日
申 上月家造又之信收 所寄書
讀之良之如也 中目也及之志也
此在信見言也 中 作信也
尚与信也 上目也及之志也
守 所目也 中 方也 中目也
及之志也 中 方也 中目也
中 方也 中目也

宝永二年四月八日

忠信 初市吉吏

宝永二年六月
忠信之信 年一信也

重賢 初市吉吏

忠信之信 九月

忠信
初市吉吏

忠信
初市吉吏

享保六丑 十月廿二日御殿に召出。
 元文二己九月廿三日御定。享保三
 十月廿二日御定。元文二己九月廿三日御定。享保三
 九月廿二日御定。元文二己九月廿三日御定。享保三
享保三丑の女

勝 敬 子
アキヲ 敬子

元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。
元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。

勝 甲 子
アキヲ 敬子
 元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。
元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。

元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。
元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。

勝 甲 子
アキヲ 敬子
 元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。
元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。

勝 甲 子
アキヲ 敬子
 元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。
元文二己十月廿二日御定。享保三丑の女。

源姓

伊佐

伊佐幸海

知改

幸海原幸智未妹

伊佐幸海

知改

卷母原幸智未妹

其母山内山守知春信女
山内山守
 素山内山守
 小林信女山内山守

有德院極代宣保十已酉年十二月十日
 至極代名男の頃十八貞成年十二月十日
 山内山守信女の宛書に酉年正月十日
 人接待の宛宛元己酉年六月八日
 但此の宣曆十一酉年二月十日
 〇西和乙酉年七月十日
 山内山守信女

〇常道一代之代目信作幸孫行初石見与
 門方在信守北溪和尙
 孫小若因信守子傳受茶事一昨花信

知膏

山内山守
山内山守
山内山守
 卷母山内信作信女
 宣母信守信女
 素 卷父知春信女

子口拾遺人校

博信院御代室曆七丁酉年二月身長子〇月八
庚寅年二月廿三日教至金之乃〇月九丁卯年
二月廿四日身長子〇月十二丁酉年長父身長
四教身長子〇月廿三日身長子〇月廿四日身長
身長子〇月廿五日身長子〇月廿六日身長子
身長子〇月廿七日身長子〇月廿八日身長子
身長子〇月廿九日身長子〇月三十日身長子
身長子〇月三十一日身長子〇月三十二日身長子
身長子〇月三十三日身長子〇月三十四日身長子
身長子〇月三十五日身長子〇月三十六日身長子
身長子〇月三十七日身長子〇月三十八日身長子
身長子〇月三十九日身長子〇月四十日身長子
身長子〇月四十一日身長子〇月四十二日身長子
身長子〇月四十三日身長子〇月四十四日身長子
身長子〇月四十五日身長子〇月四十六日身長子
身長子〇月四十七日身長子〇月四十八日身長子
身長子〇月四十九日身長子〇月五十日身長子
身長子〇月五十一日身長子〇月五十二日身長子
身長子〇月五十三日身長子〇月五十四日身長子
身長子〇月五十五日身長子〇月五十六日身長子
身長子〇月五十七日身長子〇月五十八日身長子
身長子〇月五十九日身長子〇月六十日身長子
身長子〇月六十一日身長子〇月六十二日身長子
身長子〇月六十三日身長子〇月六十四日身長子
身長子〇月六十五日身長子〇月六十六日身長子
身長子〇月六十七日身長子〇月六十八日身長子
身長子〇月六十九日身長子〇月七十日身長子
身長子〇月七十一日身長子〇月七十二日身長子
身長子〇月七十三日身長子〇月七十四日身長子
身長子〇月七十五日身長子〇月七十六日身長子
身長子〇月七十七日身長子〇月七十八日身長子
身長子〇月七十九日身長子〇月八十日身長子
身長子〇月八十一日身長子〇月八十二日身長子
身長子〇月八十三日身長子〇月八十四日身長子
身長子〇月八十五日身長子〇月八十六日身長子
身長子〇月八十七日身長子〇月八十八日身長子
身長子〇月八十九日身長子〇月九十日身長子
身長子〇月九十一日身長子〇月九十二日身長子
身長子〇月九十三日身長子〇月九十四日身長子
身長子〇月九十五日身長子〇月九十六日身長子
身長子〇月九十七日身長子〇月九十八日身長子
身長子〇月九十九日身長子〇月一百日身長子

一 身長子〇月〇日身長子〇月〇日身長子〇月〇日
二 缺位補 沖筆山色紙
三 卷首尾極 沖函於身長子〇月〇日身長子〇月〇日
一 身長子〇月〇日身長子〇月〇日身長子〇月〇日

如子 身長子〇月〇日

忠吉忠次定次定政宗詮宗純

九膳美孝家

正利 五尾三門
佐家

正次 正房 正次 正峯

丹後守信家

正永

九道正喜家

正軌

左兵衛正幹家

忠重 理原門
佐家

忠重 理原門 佐家
正次 正房 正次 正峯
正利 五尾三門 佐家
正永
正軌
丹後守信家
九道正喜家
左兵衛正幹家

平賀の...
...
...

留書

権現権...
...
...

権現権...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

采

...
...

...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...

本年より上野女学が
開校して女子教育
の盛んなる事

甚重なり
者なり

伊河村に於ては
乃檢使

大敵は極く
此は月秋田城

1860年12月

右津尾村
此は月秋田城

多岐にわたる
此は月秋田城

其日

東武海軍
引出

多岐にわたる

此は月秋田城

日地
此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

此は月秋田城

平家上野女御...
平家上野女御...
平家上野女御...

基...
基...
基...

伊河...
乃...
乃...
乃...

大...
大...
大...
大...

中...
中...
中...

右...
右...
右...
右...

多...
多...
多...
多...

其...
其...
其...

東...
東...
東...

多...
多...
多...
多...

日...
日...
日...

惟...
惟...
惟...
惟...

三...
三...
三...

法...
法...
法...
法...

此...
此...
此...

法...
法...
法...
法...

此...
此...
此...

寛永十五年 御在
左付と御
寛永十五年 御在
左付と御
寛永十五年 御在
左付と御

寛永十五年 御在
左付と御
寛永十五年 御在
左付と御

正房 中知 左衛門 右衛門 左衛門 右衛門
正房 中知 左衛門 右衛門 左衛門 右衛門

寛永十五年 御在
左付と御
寛永十五年 御在
左付と御

正城 法律事
正城 法律事
正城 法律事
正城 法律事

元和七年
正徳院
正徳院
正徳院

寛永十五年 御在
左付と御
寛永十五年 御在
左付と御

寛永十五年 御在
左付と御
寛永十五年 御在
左付と御

元禄元年三月廿一日

宗持 書

宗持 書
元禄二年三月廿一日
宗持 書

元禄二年三月廿一日
宗持 書

元禄二年三月廿一日
宗持 書

元禄二年三月廿一日
宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗持 書

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
久々書きたり

宗符 昔より
又々々々々々々

天保三年三月廿六日
不
天保三年三月廿六日
天保三年三月廿六日

宗符 昔より
又々々々々々々

貞享三年二月廿六日
今月...
貞享三年二月廿六日

改訂...
改訂...
改訂...

貞享三年二月廿六日
今月...
貞享三年二月廿六日

天保三年三月廿六日
不
天保三年三月廿六日

天保三年三月廿六日
不
天保三年三月廿六日

宗符 音る
又々々々々々々

三年... 宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
三年... 宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
三年... 宗符... 宗符... 宗符... 宗符...

宗符
三年
宗符
三年
宗符
三年

宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
宗符... 宗符... 宗符... 宗符...

宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
宗符... 宗符... 宗符... 宗符...

宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
宗符... 宗符... 宗符... 宗符...

宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
宗符... 宗符... 宗符... 宗符...

宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
宗符... 宗符... 宗符... 宗符...

宗符... 宗符... 宗符... 宗符...
宗符... 宗符... 宗符... 宗符...

小宮子

寛永

永年

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

信次 理直

社文志の巻

女子

叔母信直の事

寛永

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

寛永

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

寛永

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

寛永

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

寛永

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

の事

寛永五年 御在
長城 志事

御在 長城 志事

寛永五年 御在
長城 志事
御在 長城 志事

長城 志事

長城 志事

長城 志事

正義

定政

御在

御在

正勝 御在

正勝 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

寛永九年 御在

大正十一年...
御...
御...

此七位の蔵日守
妻ハ左様至...
高ルウ女

家治
百助カクモリ

元徳己未年七月廿百助カクモリ
同十...
八月...
同...
同...

十月廿...
妻ハ...
同...

家徳
源助

大正十一年...
同...
同...
同...

正利
母家...
父家...
兄弟...

女子
女子...
女子...

大正十一年...
六月...
百助...

正家
羊助
左様

大正十一年...
同...
同...

徳川幕府の御用書
御用書

北七作の歳日記

妻ハ七左衛門三郎一島氏ノ女

家名

百助 右衛門

元禄二年三月廿二日

〇〇年十二月廿九日

元禄二年七月廿二日

八月廿二日

九月廿二日

〇〇年十一月廿九日

十月廿二日

漢印

家名
元禄二年十二月廿二日

女子

女子

女子

元禄二年三月廿二日
元禄二年六月廿二日
元禄二年九月廿二日

家名

百助 右衛門

元禄二年十二月廿二日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

北七位 小磯日守
其ハ大正十一年三月廿一日

家治
百助 小磯

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日
大正十一年三月廿一日

貞卷 左巻 左巻

母三某氏

寛政六甲寅年七月廿三日 祀文天香の節を施す一亦らるゝ
御月見七年四月二十七日 聖徳の節に列せ
妻六郎九倫の節を詳し女

貞休 喜四郎 母二西詳し女

女子

女子

喜多子
喜多子

市見方と正喜

源姓

高四百石

上野 三月

市見

家後二已

丑三桐

清和天皇十代 本宮の位者義仲法胤
信濃國位人市見と帝位正則五代
左史又右史

市見長門守 長門守子外左史又右史

正次

母

妻 不知

常憲院極代 延寶九年閏年二月十二日

淨國身之〇元極院第年二月二日此莊地〇因大

申年正月及二月切采三首儀下〇月七庚年

二月五月初方此書〇同年二月淨道初書

〇月廿〇日平莊〇同屋六月廿〇日瑞若出莊地

〇月廿五年二月十九日多能又海敷子子九

百石月子百石家智百石月子百石

分知〇〇〇〇

文照院極代家出〇世年二月十二日志乃終身

淨地〇月廿〇日此莊地〇因大

百石庄極代家保〇世年二月十二日此莊地

身之〇月廿〇日此莊地

法皇御所御月廿六日年二月廿八日此莊地

因七子年八月廿〇日此莊地

七月御所〇月廿八日此莊地

〇元文二年八月廿七日病死〇家保

宣和二年十月十日百原長三首法源抄
不病死年月及歳数等事

山軌 市是九月廿日 百原長三

某 市是九月廿日

山永 市是九月廿日 久美一物

母 市是九月廿日 久美一物

妻 市是九月廿日 久美一物

百原長三首法源抄

石部地山首法源抄
宣和二年十月十日百原長三首法源抄
宣和二年十月十日百原長三首法源抄
宣和二年十月十日百原長三首法源抄

女子

市是九月廿日

山軌 市是九月廿日

宣和二年十月十日百原長三首法源抄

妻 楊中女 八帝 昭惟女

後河原孫次郎 享德二年 正月十九日 志家子

家智 志家子 治和 治和子 治和 治和子 治和 治和子

○ 志家 治和 治和子 治和 治和子 治和 治和子

志家

女子

正妻

市見 氏道 治 志家子

母 楊中女 八帝 昭惟女

○ 志家 八帝 昭惟女 昭惟女

志家 昭惟女 昭惟女

後河原孫次郎 享德二年 正月十九日 志家子

智山 志家子 治和 治和子 治和 治和子

治和 治和子 治和 治和子 治和 治和子

七年 正月十九日 志家子 治和 治和子

志家

女子

武内 志家子 昭惟女

同治二年 正月十九日 志家子 昭惟女

一 某 毒毒 早世

一 正故 法一 如之 同子

[Faint, mostly illegible handwritten text in cursive style]

市正長由名幹

源姓

高古百石

市岡

家故 二巴

五三ノ相

市正長子針頭正房之男

一 ● 正軌

左之孫

武部

徳助

元禄十八年八月廿六日父正房新行

同日高五目衣衣多知の意保入申行

亦有大西友の同二年 卯岡之日廿日

同子流の意曆六 丙子二月十一日申先子

[Small vertical text in the top left corner]

四年四月
十日
十日
十日

日死義後
七十三年
年の生
うのり

日十一年六月坊上子
山伏地
九月十八日死
九月十八日死
九月十八日死

正徳

正徳二年七月
正徳二年七月
正徳二年七月
正徳二年七月

正弘

正弘二年
正弘二年
正弘二年
正弘二年

正路
正路
正路
正路

正幹

正幹二年
正幹二年
正幹二年
正幹二年

妻ハ 合候 西島 西島 西島 西島
長子ハ 長子 久太郎 正徳 中

正教 左島 幸市 虎 中

母 西島 貞子

市忠丹後守房仲

山姓

高千石

市忠

家故 二巴

丑七相

市忠左衛門 左馬之助 則之代 理右衛門 正
武二男

正次

左之次

伴 賢

大梅河津 三村 父之 一回 休年 元禄 元之卯

中 乃 七 乃 法 丹 甲 竹 三 乃 水 乃 舟 新 規

三百 石 下 同 九 乃 亥 年 正 乃 也 乃 殿

此乃元禄元年正月八日
市忠丹後守房仲
正次
左之次
伴賢

奉八 合氏西多希一西貞ノ女
後妻ハ 長孫久之希一正惟ノ女

正教 左馬守 虎ノ印

廿五貞ノ女

源姓

高千石

市忠

家牧二巴 丑七相

市忠左衛門左衛門之代 理右衛門心

武二男

心次

左之丞

伴

大坂陣ノ時父ノ一因信守元祖元之印

中ノ七五法丹甲付ノ一ニ名取ノ身新規

三百石ノ下ノ同九名ノ年正ノ世ノ後

此ノ元祖ノ身ノ番人ノ事ノ不
善ノ處ニ由リテ此ノ世ノ事
ノ始メニ由リテ此ノ世ノ事
ノ始メニ由リテ此ノ世ノ事



○同年七月...
○同年七月...
○同年七月...

東武...
三百石...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

本小...

西房

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

○同年七月...
○同年七月...

三首石上野 邑東
下野 梁田
町馬

右...

寛永...

寛永...

番改

之福元年八月...
 九年二月廿七日...
 九年九月...
 九年九月...
 九年九月...

正次

九年二月廿七日...
 九年九月...
 九年九月...
 九年九月...

正次 市國... 正次... 組

中 五保...

中 大田...

中 尾川...

九年二月廿七日...
 九年九月...
 九年九月...
 九年九月...

山家

山田...
 山田...
 山田...

之福元年二月廿五日
九年二月廿五日
九年九月廿五日
九年九月廿五日

申渡根山... 之福元年...
申渡根山... 之福元年...
申渡根山... 之福元年...

正次

正次
之福元年二月廿二日初見
之福元年二月廿二日初見
之福元年二月廿二日初見
之福元年二月廿二日初見

正次 市國... 正次...
正次 市國... 正次...

之福元年二月廿二日初見
之福元年二月廿二日初見
之福元年二月廿二日初見
之福元年二月廿二日初見

如子 大田... 如子...
如子 大田... 如子...

如子 大田... 如子...
如子 大田... 如子...

如子 大田... 如子...
如子 大田... 如子...

如子 大田... 如子...
如子 大田... 如子...

如子 大田... 如子...
如子 大田... 如子...

山家

山家
山家
山家
山家
山家
山家
山家
山家

女子 正永

市邑乃正喜之祖 正永 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖

正永 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

房仲

女子 正永 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

女子 正永 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖

正永 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖 市邑乃正喜之祖

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

房教

享保五年 享保五年 享保五年 享保五年 享保五年

正保 帝志

典儀 典儀

某 某

某 某

男之幸下印信

重備 重備

源姓

多根人 技師

長上

家故 右巴 巴文集

長上 儀太馬

友信

喜少 喜少

喜少 喜少

天和二年 天和二年

痛死年 痛死年

某

長上 新次郎

父の儀一に鑑りて...

七月廿九日 七月廿九日

於連中唯唯仕和宗人未家多之法
有故在為家多如以化

皇之御長男 幼長帝

正徳二年三月

信改

母 少海 皇女
連海 皇女
妻 皇女 清六帝 皇女

正徳二年三月
皇女 清六帝 皇女

兄新理帝 後未家多之仕内 於連中 唯唯仕
皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

正徳二年三月
皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

西暦

信改

有信改 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

皇女 皇女 皇女 皇女 皇女 皇女

祥家

三月福山王 御宗系 長根田門不致可成

河内見〇同年十月十日半人出次〇慶應寺年

九月十九日病起〇在七条麻布町知事院養

賀信

是上御年々

母 是年源六郎定名女

高孫人使行

室曆十二年十一月十日家信〇慶應寺
二月十日病死七十九歳

信

是上御年々

孝久

是上御年々
是上御年々
是上御年々

高十人扶持

義信

母 家女

是上御年々

寛政十三年十一月廿一日家督小治信日九年
十二月八日持格支死勘定

[Faint, mostly illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

平所

多三子五郎係
家故上存ノ蝶 丑三相

生所

張天皇十代位下平初任位

匡匡法下源初十代生所

秀成七郎

生所今右馬 江 山南市之懸

秀福

母家女

妻横井長久守保女

[Small handwritten notes and characters in the top left corner]



後部

元禄十四年三月廿七日

岸沼信元

常憲院極代元禄十四年十二月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

此後入の字より乱筆等修練は江戸靈

岸沼信元ははらぬ

常憲院極代元禄十四年十二月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

常憲院極代元禄十四年三月廿七日
元禄十四年三月廿七日
元禄十四年三月廿七日
元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

元禄十四年三月廿七日

妻 貞子 貞子 貞子

孫 貞子 貞子 貞子

常 貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

女子 村 貞子 貞子

生 貞子 貞子

和 文 貞子 貞子

秀 貞子 貞子

母 貞子 貞子

貞 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

景 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

女子
 松平公一保高ノ事ニテウラノ路
 上河仰之也 是休

西元七四年十二月廿五日
 三月六日

女子
 依原信安辭書

女子
 女子
 某
 系
 系
 系

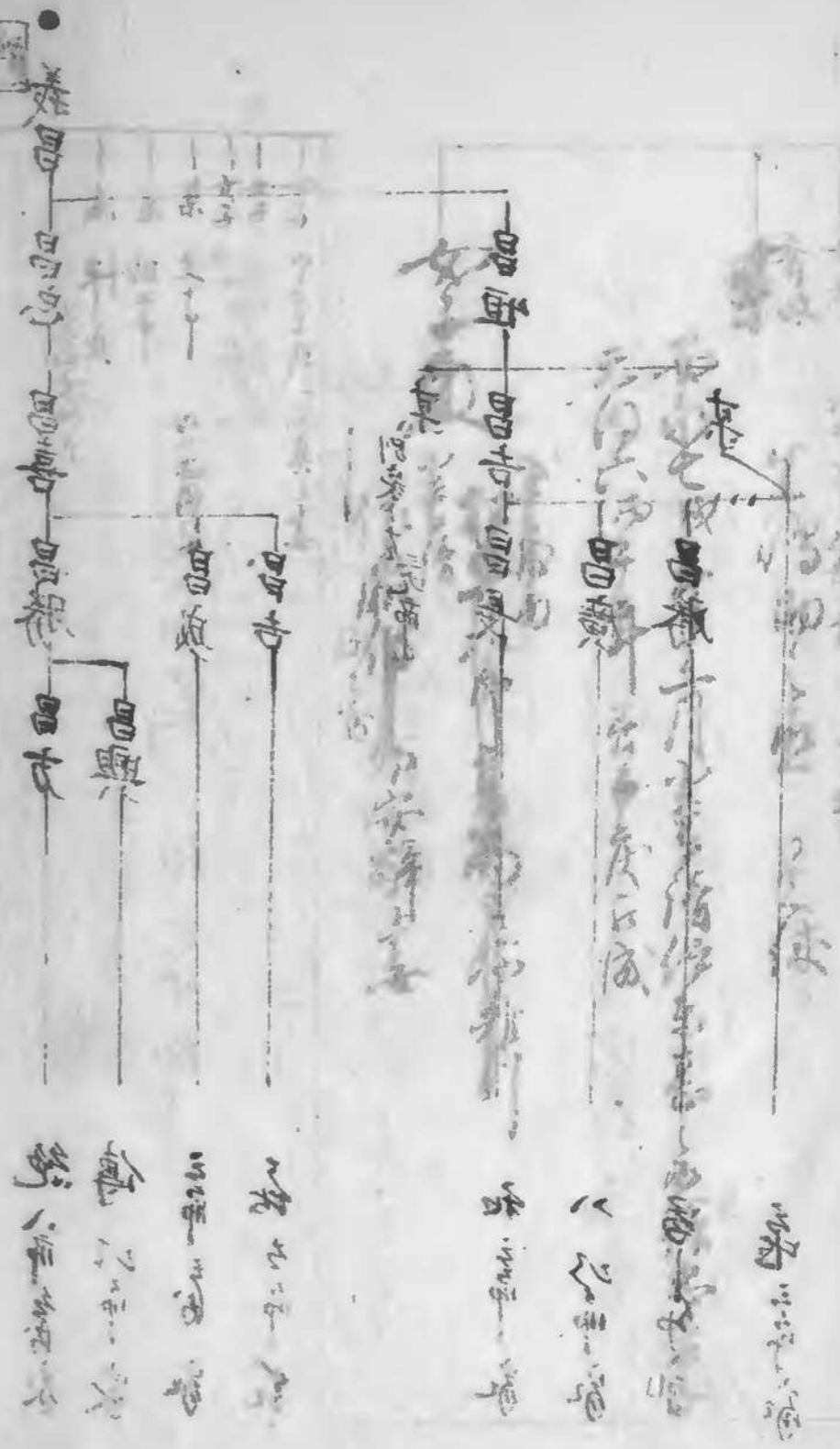
義昌
 昌忠
 昌喜

昌勝
 昌方
 昌興
 昌成
 昌吉

昌恒
 昌吉
 昌長

昌廣
 昌勝

左記は及清ま令抄給ふ



伝記 昌成

版元 昌成

版元

高之百伝

高之百伝
花菱 宗子孫

版元 市郎丸

昌成

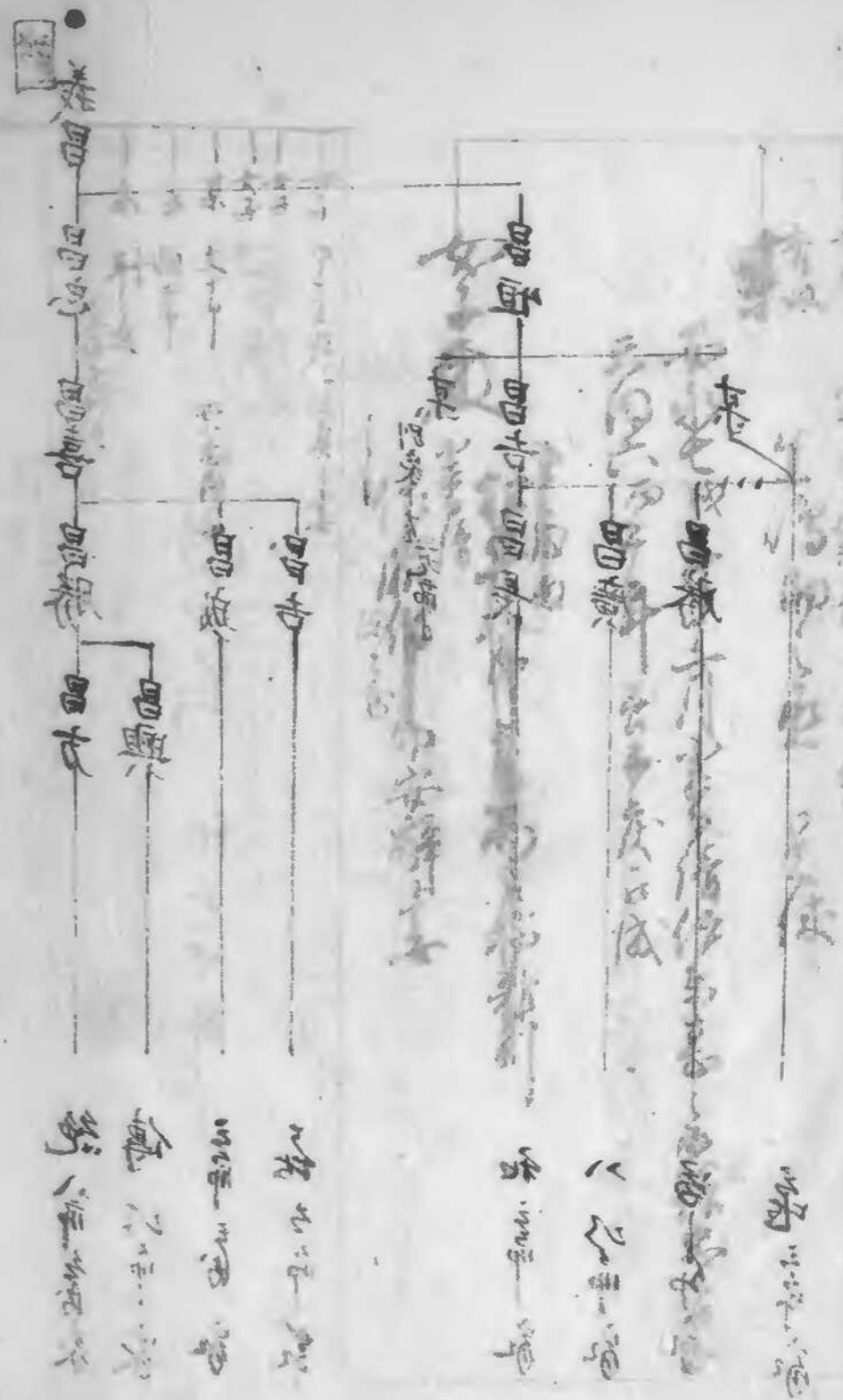
母之孫 高之百伝

元和七年九月

法十人扶持小十人組

月廿六日

右使役殿 法十人組 實承 九年二月



源姓 高之百原
版室 高之百原
版室 高之百原

●昌成
版室市所立 二所立

母之孫也 高之百原
元和七年九月次男より高之百原
法十人扶持小十人組 寛永九年二月廿六日
右位從殿 法十人 命 或拾五 納



戸部書部百俵初月借十人扶持取
公〇西曆二年三月二日死五拾二歳
牛込松原寺葬
其ハ版金與三〇四ノ中
任在時

昌子
昌子

昌子

版金市部在事 年三席

初昌之 二席在事
昌子
西曆元年惣取〇月二年家持也
寛文十一年四月廿八日人組〇貞享

元年十一月廿二日半人組以加科百
俵〇家承元年六月廿二日守
番〇以〇月七年六月十六日病免〇
享保二年二月廿日死五拾二歳
小石川極楽水谷仁寺葬
其ハ版金與の長斤相助爲つ重抄ノ中

昌條

版金二席在事 年三席

自昌子
寛文六年四月廿二日守番〇享保

昌孝 三子

恒岳 豊五郎 一子

神多氏の奉子

女子

玄別 五郎 五子

玄別 五郎 五子

女子

昌古 平七郎

女子

六年四月廿九日家持の月十七年

右坂屋兼山用印八年九月廿二日

後令之校の文に八年十二月十八日

後令之校の文に八年十二月十八日

正徳改の文に八年十二月十八日

納戸改の同奉十二月十九日布衣

宝曆三年八月廿九日死七孫之孫

寺子孫

寺子孫

昌孝

辰巳之孫之孫 云九郎

享保六年六月廿九日老長子月十七年

十月廿二日大書書〇延享四年六月

二月廿二日姓組〇宝曆三年十月廿

家持〇月九年十二月廿六日書改

令之校〇月十二年六月九日死七孫

八孫同奉子孫

高井中三郎 真展 妻

昌友

実山とわをまに
版元新八郎
幸次郎

漢字の文字を重畳し男也

宝曆九年二月廿一日吉子二月十二

年八月有吉子。明和五年一月

月之有死之程也

其八御年より御主林の如

昌春

版元之御多場 平之郎

明和七年七月廿日家信の吉水

中々定行

二の百様

四年二月十二日信也

四年十一月廿一日信也

四年十二月廿二日初見

四年七月廿七日信也

四年十一月廿一日信也

四年二月廿二日信也

四年九月十一日信也

四年十一月十九日信也

四年十一月廿一日信也

めくれず

口後より対面月八日時辰三月三年
十月廿二日吹上金瓶五物同日八年之
月七日吹上大的時辰三月七年育
育少令瓶子の同年九月廿八日吹
上大的三月十年三月廿四日吹上大
的時辰式
書六南條八幡宮の女
宣和二年丁未六月朔日河津津原合及初日同日三年丁未
善子原津原の女西宮宮道云云同日十月廿二日吹上大的時辰式
又少宮道云云同日四月二十日吹上大的時辰式又少宮道云云同日
吹上大的時辰式同日六月廿七日吹上大的時辰式同日七月廿二日
吹上大的時辰式同日八月廿六日吹上大的時辰式同日九月廿九日吹上大的時辰式

昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少

昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少

昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少
昌隆百少

源姓 中氏漢利
源姓 中氏漢利
源姓 中氏漢利
源姓 中氏漢利
源姓 中氏漢利
源姓 中氏漢利

新元之帝義光臣代漢利与市義成
後流里斐國代初漢利傾佐宮人代
佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐
昌忠 漢利 佐佐

昌忠 漢利 佐佐
昌忠 漢利 佐佐
昌忠 漢利 佐佐
昌忠 漢利 佐佐
昌忠 漢利 佐佐
昌忠 漢利 佐佐

此書を多し...
再訂 新紀 卷之四

内閣文庫

天保十七年六月百病死...
此書を多し...
再訂 新紀 卷之四

天保十七年六月百病死

天保十七年六月百病死

天保十七年六月百病死

大成土表三三
甲斐守...
連署の条

天保十七年六月百病死...
再訂 新紀 卷之四

某
傳...
因...
の法

天保十七年六月百病死...
再訂 新紀 卷之四

某
傳...
の法

某
傳...
の法

天保十七年六月百病死...
再訂 新紀 卷之四

天保十七年六月百病死

手ついで合意... (Main vertical text on the right side of the upper section)

昌文	昌志	昌喜	某	昌茂	昌勝	昌成	昌吉
...

昌成
昌勝

再訂券札云

義昌
初是 紙布 紙布

武田信玄に付
昌春... (Text block in the middle-right section)

昌喜
昌成
昌文

昌成
昌喜

昌吉
昌成

昌成

昌喜

母
昌喜
昌成

再訂券札云
内閣

再訂券札云
再訂券札云
再訂券札云

東郷侯の御書
矢野侯の御書
河津侯の御書

白痴記
白痴記
白痴記

昌春

版元次郎重信 幼名長房

母 妙子 某氏

書 櫻井安藤と信長女

武田信玄の御書
武田信玄の御書
武田信玄の御書

於甲子

権兵衛の御書
権兵衛の御書
権兵衛の御書

大成土美三子
甲斐守藤原正成
遠田の御書

某

七世右大臣河津重平頂戴信

河津重平の御書

某

甲州版元

某

三松右衛門大進利

分利信七右衛門

周分内山右衛門

白鳥瑞成右衛門

右衛門大進

川崎の御書
川崎の御書
川崎の御書

大乃由成之旨

之旨之旨亦家

之旨之旨亦家

以以多之抽意

状如解

三未九助

天正十年
八月
廿九日

恒室正長傳書

上系下ハ丁五下
大難の事
中傳の事
之旨の事
之旨の事
之旨の事

○同年十月十日甲辰恒室正長
子之旨之旨之旨之旨之旨
恒室正長傳書

上書

恒室正長傳書

之旨之旨之旨之旨
之旨之旨之旨之旨
之旨之旨之旨之旨

わ成行るる河都通
三河
郡大所
三河
多志
接婦
子
河

多志
河
郡
大所
三河
多志
接婦
子
河

○国東河國道
多志河
郡大所
三河
多志
接婦
子
河

此の文は... (Faded text at the top of the right page, likely a preface or introduction.)

四十八年... (Main vertical text on the right side of the right page.)

... (Main vertical text on the left side of the right page.)

昌信 信室... (A specific line of text or signature on the right page.)

... (Faded text at the top of the left page.)

... (Main vertical text on the right side of the left page.)

... (Main vertical text on the left side of the left page.)

... (Main vertical text on the far left side of the left page.)

合部百名の令
持助と平令之

しりしり

寛永二
十月廿日

昭心

老有院孫茂と大重也○寛文十一年金平

心育病死に十一年市ヶ谷長松と素疾

寛文十一年市ヶ谷長松と素疾
心育病死に十一年市ヶ谷長松と素疾
昭心

○百集小傳流寸御師来世

昌去 恒室の出来

昌成 恒室市郎の 幼少の傳

宗心 恒室守之世に傳

宗心 恒室守之世に傳

宗心 恒室守之世に傳

宗心 恒室守之世に傳

昌勝 文禄元年
昌成 慶長元年
昌吉 文禄四年
生年右の昌吉
昌成 長生
昌吉 長生
昌吉 長生

昌吉 長生
昌成 長生
昌勝 長生

如之

右記
左記

昌方

恒宗淑子傳 恒宗 道心 昌方

母 雨玄程在馬口經女

妻 右田忠十郎其女

正保三年六月二十一日 昌方生 昌方生 昌方生

年四月八日 家督 昌方生 昌方生 昌方生

昌方生 昌方生 昌方生 昌方生 昌方生

昌方生 昌方生 昌方生 昌方生 昌方生

葵

昌典

恒宗 昌典

女子 恒宗 昌典

昌典 恒宗 昌典

恒宗 昌典

昌信

昌信 恒宗 昌信

昌信 恒宗 昌信

昌信 恒宗 昌信

又ハ一途を舊の所から三月廿九日申方にて其女を娶りて
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

女 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

内閣文庫

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年
 元禄四年十一月廿八日百家惣小當宗行○十年

めくれず

御書 御返書

Handwritten Latin text, likely a letter or document, starting with "Dear Sir" and "I have received your letter".

御書 御返書 〇年 〇月 〇日 〇時 〇分 〇秒

内附

御書 御返書 〇年 〇月 〇日 〇時 〇分 〇秒

昭和六年十月

Handwritten notes and dates at the top of the left page.

御書 御返書 〇年 〇月 〇日 〇時 〇分 〇秒

Handwritten notes on the left side of the page.

右昌自文改定

昭和六年七月
大正七年
前在馬

昭和六年七月
大正七年
前在馬

昭和六年七月
大正七年
前在馬

昭和六年七月
大正七年
前在馬

一日目
公前在馬

昭和六年七月
大正七年
前在馬

昭

昭和六年七月
大正七年
前在馬

昭和六年七月
大正七年
前在馬

昭和六年七月
大正七年
前在馬

昭和六年七月
大正七年
前在馬

源氏
恒定

新屋之平源義光氏代漢利与市
義成後流中斐里氏代源利与市
恒定源氏代源利与市
恒定源氏代源利与市

冒勝

恒定源氏代源利与市

めくれず

甲辰年四月
母 孫井女 孫子 信忠女

大正
△ 妻 孫子 孫子 孫子 孫子 孫子

△ 妻 孫子 孫子 孫子 孫子 孫子

△ 孫子 孫子 孫子

△ 妻 孫子 孫子 孫子 孫子 孫子

△ 孫子 孫子 孫子 孫子 孫子

自取

手書

孫子 孫子 孫子

孫子 孫子 孫子

孫子 孫子 孫子

昌興

母 孫子 孫子 孫子 孫子

孫子

孫子 孫子 孫子 孫子 孫子

孫子 孫子 孫子

めくれず

甲辰年四月
一母 孫丹女 魏子信忠女

△妻 西宮 孫丹女

△妻 西宮 孫丹女 西宮 孫丹女 西宮 孫丹女

△妻 西宮 孫丹女

△妻 西宮 孫丹女 西宮 孫丹女 西宮 孫丹女

△妻 西宮 孫丹女 西宮 孫丹女 西宮 孫丹女

昌興

昌興

昌興

昌興

昌興

昌興

昌興

昌興

昌興

昌興

昌興

めくれず

清福院様上 市井向ふ高野山書院様○

兼徳元壬辰年一切米百石納儀下○又

元辛酉年七拾俵山納儀分金百石納儀了

○延宝二年卯年百石納儀分金百石納儀了

市井向ふ高野山書院様上 市井向ふ高野山書院様上

兼徳元壬辰年一切米百石納儀下○又

元辛酉年七拾俵山納儀分金百石納儀了

○延宝二年卯年百石納儀分金百石納儀了

市井向ふ高野山書院様上 市井向ふ高野山書院様上

甲府分限帳

女子

杉原五郎重

呂雄

恒家八之助

卷母 家女

実母 恒家八之助之信呂信女

妻 河原流右衛門信貞女

年月日少知家女子○延寶二年七月

十日自家惣少書信○延寶二年四月

十日 白 白八年中月日先河礼

清福院様書院様○元禄二年正月

十日 白 白八年中月日先河礼

書信○宝永二年十二月日先河礼

杉原五郎重

寫此書○四月廿一日年十二月九日相之方山書也
之音也○

有德度極安相之方山書也○此德之受也年

有方山書也○此德之受也年十二月九日

有方山書也○此德之受也年十二月九日

有方山書也○此德之受也年十二月九日

有方山書也○此德之受也年十二月九日

妻山房弟書之鎮真子也

飯室河次郎

昌因

母河原富子為德貞女○

妻山房弟書之鎮真子也

大德度極安相之方山書也○此德之受也年

有方山書也○此德之受也年十二月九日

有方山書也○此德之受也年十二月九日

有方山書也○此德之受也年十二月九日

女子 右記 稻富 幼名 長三郎

某 長三郎

昌壽 早世 是日族中 西宮 河原 寺

飯室 節之儀 幼之儀

母 神谷 清女 忠恒女

妻 原 勝八 常平女

室曆 七丁酉年 五月九日 八月八日寅年

九月九日酉九月十日壯健 〇月十日辰辰年四月廿日

大正初年附 慶治 〇月十一日巳年八月

二月廿九日知 〇月十二日午年十二月二十日

孝恭 〇月廿九日知 〇月廿九日知

〇月廿九日知 〇月廿九日知

〇月廿九日知 〇月廿九日知

長治 〇月廿九日知 〇月廿九日知

女子 早世 是日族中 西宮 河原 寺

女子 早世 是日族中 西宮 河原 寺

長女 実福高島屋の長女
河津公室の通房長女

昌符

辰室侍所郎 幼名

母系 清八郎長女

妻 大津川 庄孫侍女

幼名

天明二年正月一日家督少善清○月

年八月十日酉刻生○月六酉午年閏
十月七日

上様 昌符九郎為入公家江左平社○

寛政九年三月十日有記○左の

上様江左所為○同七年十一月十日

智子 寛政九年十一月十日 昌符附○同七年

昌香

元昌符の長女

物一 文政五年六月亦以老衰入
徳三 天保四年三月亦以老衰入
同五年

昌香 昌符の長女
昌香 昌符の長女

[Faint, illegible handwriting, possibly bleed-through from the reverse side]

伯玉の事... 昌南

源姓

昌南

飯室

飯室 昌南

新産之席義光氏代漢利手市義成
備流飯室抄而了義昌以會令會
昌恒也

飯室 昌南

三九席

[Small vertical text in the top left corner]

某

昌南 昌南

甲斐國八代郡大領
小島と川村

大成十三年四月
甲斐守佐佐木
實成連書

大領書
大領書
大領書

大成十三年

新代甲斐國八代郡大領書
天正十三年

二月十日
信濃守佐佐木實成連書

信濃守佐佐木實成連書

信濃守佐佐木實成連書

信濃守佐佐木實成連書

信濃守佐佐木實成連書

信濃守佐佐木實成連書

大成十三年
甲斐守佐佐木實成連書

大成十三年
甲斐守佐佐木實成連書

昌徳

辰室与子之書

母家女

妻辰室与子之書

東海
信濃守佐佐木實成連書

九月五日
信濃守佐佐木實成連書

守子之書

信濃守佐佐木實成連書

父後村之村月代の代地之後土周集
 郡之内新田村杉谷村以之村望地
 之角植田村之村以之村望地
 山廣安富之村以之村望地
 病免山多之村以之村望地
 梅之村以之村望地
 侯州加之村以之村望地
 勝之

女子 飯之百部之村望地

飯之百部

昌親

寛文十一年二月廿一日
 年十二月九日
 宝永七年二月九日
 〇 〇 〇

旧了名長之
 少代今川
 了小代今川

如小
 合高年長之
 了小代今川

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊

昌豊子重忠

昌豊子重忠

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠
昌豊子重忠

昌豊子重忠

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

昌豊子重忠の
昌豊子重忠の
昌豊子重忠の

飯島元重

昌興

寛保元年五月二日病死

飯島元重

昌興

飯島元重

飯島元重

家ノ神ノ年月
又ノ...

寛保元年五月十日

同日見〇宝曆二年十二月七日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

州初元年...

...

某官命 早世

昌鍊 領室化命

母 貞味女之御改昌女

妻 淑名源女而自雄女

明和七年壬子年十一月六日家終少多治〇月

安永二年九月九日大出書〇安永二年甲午年

有九月新書〇月六日申年十二月日克

安永四年二月

乃以之公之

〇月年十一月每日病死二拾七歲因守系

妻之形在

女子 作系幼女是良屋妻

昌嘉 友以命

領室化命 〇〇〇〇〇

昌春

母 淑名源女而自雄女

安永

安永六年申年十二月七日家終少多治〇

東武正統五年九月

大猷漢祚代之和七百年九月二會の初親

切米百石積法小之紙上書入田書文十九年

法〇貞享二年四月十日病死九石之書

石川公之守上書

妻六十年之書が長御書物及御書

二の書并御書手紙八の
書文が年々ありの元
家書が御入今云ふ
りての書文元来多
かりの御書物及御書
は百石積法小之紙上
書入ししとてを

百石
御書物
御書物
御書物
御書物

版室の書物 昨午迄 御書物 書

昌侯

御書物及御書物

御書物及御書物

慶安元子年七月二十日

大猷院御書物 御書物〇書文二〇年

二月廿日御書物及御書物〇書文七

未年二月廿日御書物及御書物〇書文十

百石十八人
御書物
御書物
御書物
御書物

昌知

元禄十一年二月
昌知

元禄十一年
昌知

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

女子 元禄十一年九月

昌知

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

昌知 昌知病久小常侍也。元禄十一年九月

永平公日記
再打又作也

永平公日記
常徳院移葬所
○享保十六年六月廿七日

○享保十六年六月廿七日

○享保十六年六月廿七日

○享保十六年六月廿七日

○享保十六年六月廿七日

○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

昌幸
坂家原江島
○享保十六年六月廿七日

此年終極...
 年終...
 此年終極...

長子...
 和...
 年七月...
 女子...

昌茂

若母...
 実母...

昌茂...

致仕一活

昌茂...
 昌茂...

昌茂父昌年長女

昌茂...
 昌茂...

昌由

昌由...
 昌由...

文政五年
四月廿九日
同八百十
二月廿九日
四月廿九日
四月廿九日

伊予守

伊予守

文政五年二月廿九日

二月廿九日

三月廿九日

四月廿九日

五月廿九日

六月廿九日

七月廿九日

八月廿九日

九月廿九日

十月廿九日

十一月廿九日

十二月廿九日

正月廿九日

二月廿九日

三月廿九日

四月廿九日

五月廿九日

六月廿九日

七月廿九日

八月廿九日

Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

仙家和記

仙家

多助の事

仙家

家故

花菱

仙家の事

昌恒

昌恒の子

昌恒

昌恒の子

昌恒の子

昌恒の子

昌恒の子

大成記

大成記

大成記

宋本末代... 今元集

昌古

昌古... 昌古... 昌古...

昌古... 昌古...

昌古... 昌古... 昌古...

昌長

昌長... 昌長...

昌長... 昌長... 昌長...

昌長... 昌長... 昌長...

昌長... 昌長...

昌長... 昌長...

昌長... 昌長...

昌包

昌包... 昌包...

昌包... 昌包... 昌包...

昌包... 昌包... 昌包...

昌包... 昌包... 昌包...

昌包... 昌包...

昌包... 昌包...

昌綱

昌綱... 昌綱...

昌綱... 昌綱... 昌綱...

昌綱... 昌綱...

昌包... 昌包...

昌綱... 昌綱...

享徳四年十一月十日

戸新田友の宗信又其の四月廿六日死

免存命二枚月十二年十一月廿七日

日午の妻六根井氏ノ女

時房

河津

不
多
少
の
事
を
申
上
す
事
也
其
の
由
を
申
上
す
事
也
其
の
由
を
申
上
す
事
也

享徳四年十一月十日

免存命二枚月十二年十一月廿七日

日午の妻六根井氏ノ女

昌克

長平

如子昌克ノ事

如子昌克ノ事

享徳四年十一月十日

免存命二枚月十二年十一月廿七日

日午の妻六根井氏ノ女

昌芳

徳大寺

女子小宗信存乃監事
昌芳
女子小宗信存乃監事
昌芳

天徳四年十一月廿七日
日午の妻六根井氏ノ女

昌言

初三

昌言
初三

享徳元年十月十八日
同元年十月十八日

戸部卿友の定書又其の四月廿六日

免座候令二夜月十二年十月廿七日

日午の書六種并成ノ女

時房

源重光

享徳元年十月廿七日

享徳元年十月廿七日

享徳元年十月廿七日

享徳元年十月廿七日

昌克

昌克

享徳元年十月十八日
同元年十月十八日

如子昌克ノ事

如子昌克ノ事

享徳元年十月十八日

享徳元年十月十八日

享徳元年十月十八日

昌芳

昌芳

享徳元年十月十八日

享徳元年十月十八日

享徳元年十月十八日

昌吉

昌吉

如子昌吉ノ事
昌吉ノ事

如子昌吉ノ事

其の中書する所の文を
判るに及ぶの事あり
此の如し

其の如しに言ふに
此の如しに言ふに
此の如しに言ふに

乙未年十月

寛政八年十一月廿五日

申す

此の如しに言ふに
此の如しに言ふに
此の如しに言ふに

何と云ふ

甲子年十月廿五日

源姓

高直依之次郎

何と云

寛政八年十月廿五日

其の如し

新居の所為先公何と云

昌次男今も先公何と云

何と云

此の如しに言ふに
此の如しに言ふに
此の如しに言ふに

此の如しに言ふに
此の如しに言ふに
此の如しに言ふに

昌次男

寛政八年十月廿五日

昌次男今も先公何と云

其自自藏^{如氣}子田宝祥^{法名祥葉}守之葬
妻蘭井氏ノ女

昌一

孫市郎

又自藏^{如氣}子田宝祥^{法名祥葉}守之葬
其妻蘭井氏ノ女
元禄十一年七月十日
出。同大申年七月廿五日
同十巳巳。同十巳巳。同十巳巳。

昌一

卯助

元禄十巳巳年七月十日
同十巳巳。同十巳巳。同十巳巳。

昌一

卯助

元禄十巳巳年七月十日
同十巳巳。同十巳巳。同十巳巳。

右書
七年
七年

其年

女子 牛長乃の志体、妻後教習也

昌具 初め昌具の女

昌具の年少くして知れ

天保七年戊辰十月不日昌具の生誕

天保七年卯子八月末日午前昌具の生誕

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

昌木

昌木の生誕十月廿日昌木の定改十年

昌木の生誕十月廿日昌木の定改十年

昌木の生誕十月廿日昌木の定改十年

女子 昌木の女

天保七年八月廿日



昌具

昌具の女

昌木

昌木の女

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

昌具

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

昌具の生誕十月廿日昌具の定改十年

以修之
 三和三年古月
 香原合始
 海島初
 修之
 修之
 修之

〇平後七年後の如也
 〇天和二年九月廿六日病歿。
 〇天和二年十月十日病歿。
 〇天和二年十月十日病歿。
 〇天和二年十月十日病歿。

昌正 孫中節

〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。

昌正 和豊昌

〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。
 〇天和三年正月廿六日病歿。

△ 封子
△ 在

○同十三年三月廿六日初九日
同大印之國方在九日死年三十三日
妻昌上之妻

夫弟三下四部
幸印所

○同十三年六月
父弟三下四部
少叔通志
○同十三年六月
父弟三下四部
少叔通志

昌叔

○同十三年三月廿六日死年三十三日
○同十三年三月廿六日死年三十三日

定助

昌叔

○同十三年三月廿六日死年三十三日
○同十三年三月廿六日死年三十三日

○同十三年三月廿六日死年三十三日

行項
顯通
○同十三年三月廿六日死年三十三日

昌叔

○同十三年三月廿六日死年三十三日
○同十三年三月廿六日死年三十三日

○同十三年三月廿六日死年三十三日
○同十三年三月廿六日死年三十三日

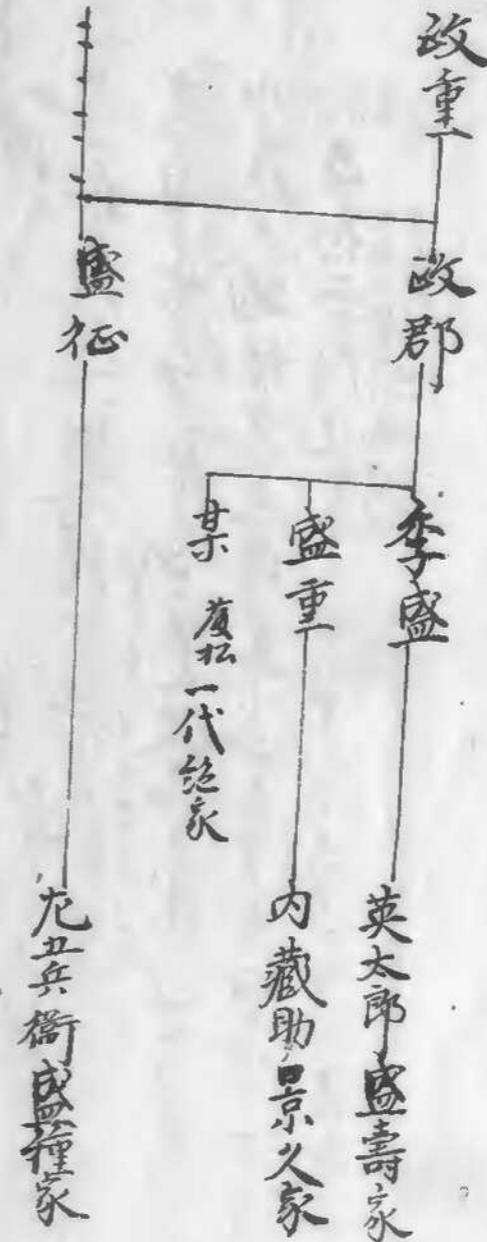
昌叔

○同十三年三月廿六日死年三十三日

Main handwritten text on the left page, including a vertical timeline and a genealogical chart with names like 益重 and 益重.

Main handwritten text on the right page, including a genealogical chart with names like 某 and 某.

板橋家畧系



寶曆十一年七月廿五日

三百二十次

...

元禄十一年九月廿六日

...

...

...

...

...

...

...

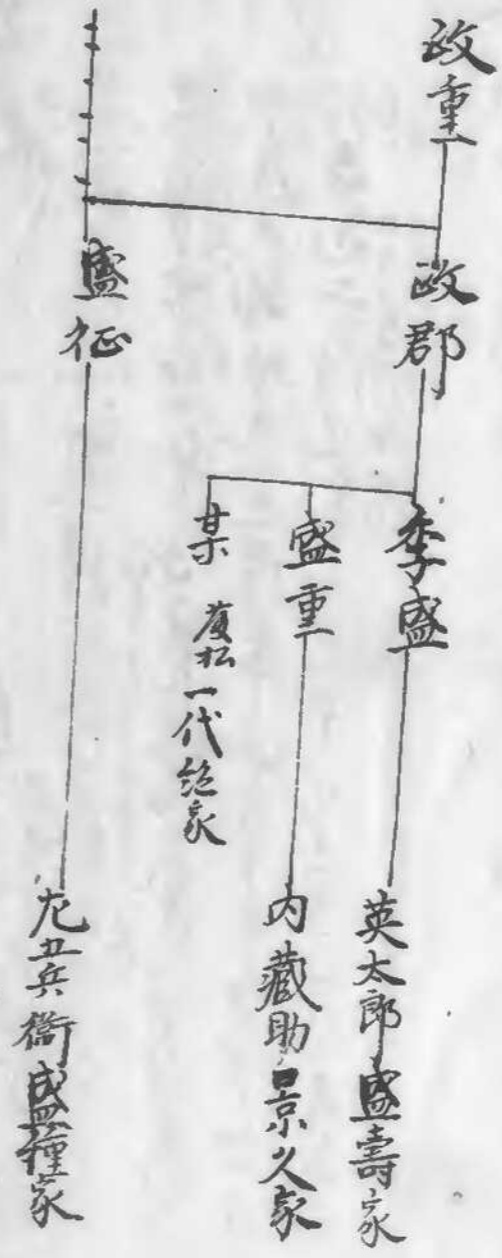
...

...

...

...

板橋家畧系



寛文十一年十二月五日

寛永十五年十月十七日

明和六年三月廿六日

天明八年三月十六日

天保三年十月廿五日

元禄五年九月廿三日

同和十五年十月廿五日

同和十年十月廿五日

同和六年十月廿五日

寛永六年十月廿五日
 天明八年三月十六日
 天保三年十月廿五日
 元禄五年九月廿三日
 同和十五年十月廿五日
 同和十年十月廿五日
 同和六年十月廿五日

御免
 御免
 御免
 御免
 御免
 御免

三百二十石
 板橋源次郎

九兵衛盛種家

1. 1711
 2. 1712
 3. 1713
 4. 1714
 5. 1715
 6. 1716
 7. 1717
 8. 1718
 9. 1719
 10. 1720
 11. 1721
 12. 1722
 13. 1723
 14. 1724
 15. 1725
 16. 1726
 17. 1727
 18. 1728
 19. 1729
 20. 1730

家譜良文より四代将恒共
 一男武基より三子武成と
 武成より三子武隆と
 武隆より三子武隆と

訂正再考より孫全六重伯
 支那九年庚子三月三日
 修ありし所を此より修補

北條初代修より孫全六重伯
 七世支那九年庚子三月三日
 修ありし所を此より修補

平氏 板橋

寛政重脩諸家譜巻之第百五十一
 平氏 板橋

板橋 佐藤

忠康 重脩

母 子

佐藤 佐藤
 佐藤 佐藤

北條 1911年11月11日

1911年11月11日

1911年11月11日

1911年11月11日

1911年11月11日

1911年11月11日

1911年11月11日

1911年11月11日

家譜良文より四代将恒共
一田武基より三代将恒共
武基より三代将恒共
武基より三代将恒共

訂正再考小極全大軍師
支那五年正月十三日
支那五年正月十三日
支那五年正月十三日

北條初代将恒より四代将恒
七代文正将恒より四代将恒
七代文正将恒より四代将恒
七代文正将恒より四代将恒



平此

氏量

九小三卷 影の九

北條氏量
北條氏量
北條氏量
北條氏量

北條氏量

北條氏量

北條氏量



北條氏量
北條氏量
北條氏量
北條氏量

死年位受

始北條家旗下より中名譽清教代名宗
耳山得大右左衛門守河代或松尾村信松
江後得大右左衛門守河代或松尾村信松
江五年九月十九日

松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松

永
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松

盛利 松尾村信松

天正十一年九月十九日
老妻 也いふに
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松
松尾村信松

政郡
板橋志摩子 河橋市 与らばり

母 家母 某氏
書 以下市郡之勝女

年月日之知功り 清月見の元和九年十二月
少知るるの竟氷記卯年十二月十日
百法の月之進子年二月廿九日中興市同日年
四月廿九日
東武 西武各条
二百三
板橋長
右女八勝の場
左の如く
右の如く
合して

中興市
少納戸 口人

元元
西元
西元

分月期

東海門 尾橋上 為 洲加 傳七 百 衣 東 於 出 所 法
衣 衣 志 摩 子 〇 上 三 年

後水尾 尾橋 清原 兼 河 一 首 冲 橋 紙 二 地
伏見 邦 氷 親 王 廣 幡 大 河 之 墨 志 郷 今 川
中 河 之 之 陸 郷 池 田 大 河 之 陸 郷 庄 田 庄
重 條 郷 三 連 院 之 之 流 法 親 王 外 中 河 之
光 頭 郷 堀 田 大 河 之 之 墨 郷 清 原 兼 中 河 之
治 房 郷 堀 井 之 道 仁 法 親 王 山 本 初 歌 十 種

日記
女院 橋 止 角
七 百 石 加 増
源 村
百 石 加 増
三 十 四 石

改郡 桓德志磨与 江後命 与后乃

母 家女 某氏
書 以下 昔市所之 婚女

年月日之知功与 清目見之元和九年十二月
少知后乃之竟永仁卯年十二月十日
百法之以下 延和二年正月十日 中興四年正月
四月十日
六月十日
上乃天福初年
元承平四年正月十日
元承平五年正月十日
元承平六年正月十日
元承平七年正月十日
元承平八年正月十日
元承平九年正月十日
元承平十年正月十日
元承平十一年正月十日
元承平十二年正月十日
元承平十三年正月十日
元承平十四年正月十日
元承平十五年正月十日
元承平十六年正月十日
元承平十七年正月十日
元承平十八年正月十日
元承平十九年正月十日
元承平二十年正月十日
元承平二十一年正月十日
元承平二十二年正月十日
元承平二十三年正月十日
元承平二十四年正月十日
元承平二十五年正月十日
元承平二十六年正月十日
元承平二十七年正月十日
元承平二十八年正月十日
元承平二十九年正月十日
元承平三十年正月十日
元承平三十一年正月十日
元承平三十二年正月十日
元承平三十三年正月十日
元承平三十四年正月十日
元承平三十五年正月十日
元承平三十六年正月十日
元承平三十七年正月十日
元承平三十八年正月十日
元承平三十九年正月十日
元承平四十年正月十日
元承平四十一年正月十日
元承平四十二年正月十日
元承平四十三年正月十日
元承平四十四年正月十日
元承平四十五年正月十日
元承平四十六年正月十日
元承平四十七年正月十日
元承平四十八年正月十日
元承平四十九年正月十日
元承平五十年正月十日
元承平五十一年正月十日
元承平五十二年正月十日
元承平五十三年正月十日
元承平五十四年正月十日
元承平五十五年正月十日
元承平五十六年正月十日
元承平五十七年正月十日
元承平五十八年正月十日
元承平五十九年正月十日
元承平六十年正月十日
元承平六十一年正月十日
元承平六十二年正月十日
元承平六十三年正月十日
元承平六十四年正月十日
元承平六十五年正月十日
元承平六十六年正月十日
元承平六十七年正月十日
元承平六十八年正月十日
元承平六十九年正月十日
元承平七十年正月十日
元承平七十一年正月十日
元承平七十二年正月十日
元承平七十三年正月十日
元承平七十四年正月十日
元承平七十五年正月十日
元承平七十六年正月十日
元承平七十七年正月十日
元承平七十八年正月十日
元承平七十九年正月十日
元承平八十年正月十日
元承平八十一年正月十日
元承平八十二年正月十日
元承平八十三年正月十日
元承平八十四年正月十日
元承平八十五年正月十日
元承平八十六年正月十日
元承平八十七年正月十日
元承平八十八年正月十日
元承平八十九年正月十日
元承平九十年正月十日
元承平九十一年正月十日
元承平九十二年正月十日
元承平九十三年正月十日
元承平九十四年正月十日
元承平九十五年正月十日
元承平九十六年正月十日
元承平九十七年正月十日
元承平九十八年正月十日
元承平九十九年正月十日
元承平一百年正月十日

中興五年正月十日
元承平四年正月十日
元承平三年正月十日
元承平二年正月十日
元承平一年正月十日

元承平五年正月十日

正月朔

東海之陸海島与 为海加信七百石 亦於此所法
元承平五年正月十日

後水尾陸海 清原兼平 市一首 冲懐紙一紙

伏見郡水鏡主 廣幡大綱 兼忠卿 今市川

中河之公 隆卿 池田公 隆卿 庄田臣

重條卿 王連院主 弘法親王 外中内之

光顯卿 堀法大綱 公量卿 清原兼中綱公

治房卿 推升之道 仁法親王 山峯和歌十種

日記三六
女院稱法角
七言石加增

源村
百餘年正月十日
十一日

少子監下書方物中昂卷法与致 昇
道如大信正 善道院高子信法親王 法乃谷
大綱之實業卿 一書院官之教法親王 禮司
物政房輔之 沙米和知如之右

乐福門法親王 洋飲今 亦持方之印

少福門法親王 少子信法親王 御子
入親言 善道院法親王 善文六年

只以未切 善道院法親王 善道院法親王
只以未切 善道院法親王 善道院法親王

口法及通徽
米善道院法親王 善道院法親王 善道院法親王
善道院法親王 善道院法親王 善道院法親王

盛征 板橋八云傳
正保以善道院法親王 善道院法親王

正保以善道院法親王 善道院法親王 善道院法親王

奉書

母 松平吉市郎之侍女
善道院法親王 善道院法親王 善道院法親王

善道院法親王 善道院法親王 善道院法親王

其
分
家
形
伯
重
地
石
書
書

悔
多
即
至
令
三
及

乙卯年二月十九日卯時生
年父老母老病其有將
以候其終焉

女
生
上
下
江
地
有
公

中
書
字

乙卯年
自
公
年
其
中
月
始
食
之
雜
少
食
事
同
姓
作
如
從
沙
洲
梅
乃

任使道分及後山諸反
尸來いそ経心
上平よりおれし候
以下沖國はさし
甘多油の藤長は要い
事とすしは門可
漢流いそし

二月七日

久大和号

阿多信判
忠信判

酒雅樂次

忠信判

恒信志平反

同平七月七日志摩子於年日奉公任
五五果之便思は深成内子
不四右右左之次
山又勅使中

東福門は梅下門厨子入
諸信はれ家
同平九月十日

朱

寛文七年二月
相模府板橋郡
七之休 松原
古物

朱
寛文七年
三月

朱
寛文七年
三月

朱
寛文七年
三月

朱

○寛文七年十一月廿七日病死に後継者
坂本津七守之孫

坂本津七守之孫

寛文七年七月十日別院に
坂本津七守之孫

坂本津七守之孫

寛文七年七月十日別院に
坂本津七守之孫

寛文七年七月十日別院に
坂本津七守之孫

朱

寛文七年七月十日別院に
坂本津七守之孫

坂本津七守之孫

女子二人
坂本津七守之孫

坂本津七守之孫

坂本津七守之孫

寛文七年七月十日別院に
坂本津七守之孫

坂本津七守之孫

坂本津七守之孫

朱
寛文七年
三月

母大出法法与頼直女

書東條信澄与平南女

貞享五年三月十一日早書信澄与平南女

貴能老与子之在成以之三年二月十日

法以和家家与儿廣盛病死法以和男子之

以有同年三月十日定家上家成之在成以

年九月十日定家上家成之在成以

二三年六月十日卯信澄与平南女

百後子室永七宮八年七月廿七日家信〇心

伊豆

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

元禄九年三月廿六日

伊豆人右吉

永盛

板橋与右吉 池田信 氏幼

女子之 中村信与一忠

死七位 氏守

有月十日病死 氏守

未年十月十日 氏守

法元卯年二月十日 氏守

山崎令之 氏守

めくれず

母 大出法信子頼直女

書 東條信徳子中浦女

貞享七年七月十一日早書後者大出法信子

貴祖長子之長成日之三年二月十日清國見

法信家子之廣徳病死法信外男子女

以有同年二月十日定家上長成日

年九月十日定家上長成日

二三年六月十日卯辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰

百後子宝永七年七月七日家信〇心

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

元禄元年三月十日

女子
十
子
併自修の事共々

膚盛
板橋安永屋門 功 豊之丞

母 喜山子七郎成福女

書 坊教子親教女 雜別

書 縮匠教子昭任女 雜別

書 余徳古后揚頑女 雜別

室曆十年年一月八日 沖月見の月三年
年二月日 改元位 永正位 切永之百儀

享和四年四月十日
春申年四月
以社奉之 希屋
五五

享和二年年一月七日 建徳の事 以未年

正以之百位 若の同身 永月十六日 春申年 永

沖任系 正位 下位 永の 同身 地 月八日 布衣の

同申年 正月 庚七日 日光 永法 有 福 百 位 教 坊

以 以 庚 八 日 沖 月 見 月 二 月 庚 七 日 沖 任 列 乙

流 乙 乙 病 氣 身 四 月 十 日 沖 任 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙

乙 乙 乙 乙 病 死 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙

乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙

一末 是

御中事
御中事
御中事
御中事

盛備

女母

家女

新衣能登与直宿女

安永六年八月廿日

年八月廿日

十月廿日

病死抄

御中事

板橋英之郎

盛壽

母新衣能登与直宿女

安永六年

八月廿日

十月廿日

病死抄

盛恭

御中事

御中事



平姓
板橋

多 三百餘

板橋 九

鶴九

甲寅豐原氏在宗以知任遷于代或紅
豐原郡板橋村任知任自其在任時

其後

之知任主其豐原因信子康家遠流
板橋中其子政重也

那

板橋志摩子

猪三郎

与志是

政那

妻村右市郎之偕女

元和九年庚午年正月朔日公行入大正書○覽

永享卯年十二月十日家部智○同十二月十年

二月申亥卯書○同年寅月日卯○如後三言

主辰年酉九月過○如後三言同申年卯日

東福門流極洲○如後三言同申年卯月日卯

忠承福死年○如後三言同申年卯月日卯

松尾九江号

松尾右衛門尉之孫女

嘉吉七年七月卯某女

寛文三年十月卯某女

○同文乙巳年十二月卯某女

正徳元年申年閏二月卯某女

年○月卯某女

松尾九江号...
元禄九年三月卯...
嘉吉七年七月卯...
寛文三年十月卯...
正徳元年申年閏二月卯...
年○月卯...

松尾九江号...
元禄九年三月卯...
嘉吉七年七月卯...
寛文三年十月卯...
正徳元年申年閏二月卯...
年○月卯...

正書
寛政三年三月五日
黄全五及
李昌

盛親 振信外子孫

母 忠美七之助某女

計書

天和二年戊午七月十日卯時生○元禄
其酉年三月九日卯時没○切通三河守
其書院書○寛政三年三月五日其年父病死○黄全五及其
父子月言分孫目某年○元文三年年宵
海日病死七拾歳同守自某

盛任 振信外子孫

見盛親○其年幸三

盛任 振信外子孫
判發悠閑

享保十七壬子年七月十日酉時生○其年幸三其子病死○其年幸三
家智仁山守公能初元文二年二月五日
其孫深正守同守卯年二月十日病死七拾歳
日守自某

御書
御書
御書

親時 板橋九之侍

婿孫義直

板橋九之侍の御位者子

少子
二女
三女

板橋九之侍 八十郎

親時

美少子
美少子
美少子

實母家女

上妻 板橋九之侍の御位者子

父毎夜為御位者子
病身
年八月
二月
十一月
○
○
○

一某 早世 方寸

盛純 板指内御所 倉三郎

盛純

母 板下三女 延建女

妻 山前 延建女 盛純 延建女 延建女

室曆三十二年六月廿三日 室曆三十二年六月廿三日

十二月七日 同日 同日 同日 同日 同日 同日

死 同日 同日 同日 同日 同日 同日

一名礼 一某

成松

[Faint bleed-through text from the reverse side]

一名礼 一某

盛純

妻 山前 延建女

母 板下三女 延建女

室曆三十二年六月廿三日

十二月七日

同日 同日 同日 同日 同日 同日

死 同日 同日 同日 同日 同日 同日

[Faint bleed-through text from the reverse side]

空照

長子 松尾九郎

長女

長子 松尾九郎

長女 松尾氏

長子

元和元年申年十一月九日 松尾氏子 松尾氏

○ 安永六年申年正月九日 松尾氏子 松尾氏

七月二日 松尾氏子 松尾氏

吾意雄意ハ
徳山古ゆり
了りてあむ

景久 松尾七太郎

内務卿

景久

松尾氏子 松尾氏

松尾氏

安永六年申年十一月八日 松尾氏子 松尾氏

同日 松尾氏子 松尾氏

同日 松尾氏子 松尾氏

同日 松尾氏子 松尾氏

因藤原氏寛政十年
三月廿九日
松尾氏子 松尾氏
安永六年申年十一月
九日 松尾氏子 松尾氏

乙方極少丸出戸移住西丸書院書如え

○寛政二庚寅年四月より西丸丸書院書如

割入同乙年三月より西丸丸書院書如

④ 文政十三壬寅年
十月隠居天保三
年五月十九日
死六十四

新入	徳右衛門	西丸丸書院書如
親志	丹中	西丸丸書院書如
親任	新	西丸丸書院書如



平姓 西丸丸書院書如

板橋 西丸丸書院書如

○ 西丸丸書院書如

盛征

正保四丁未年十二月廿七日新起
 少平人此の慶安元年四月廿七日
 正保四丁未年四月廿七日
 拾人技師下丁の慶安二年二月廿七日
 西丸丸書院書如

父誤り
又幸
父誤り

慶長十一年十二月十三日
七事年一月十九日
〇元禄二年八月廿七日
降七事年八月廿七日

盛昌

在左之由 文方中

盛年
兄弟

寛文二年卯年
年六月廿七日
月亦乃乃右

後が
知り
下仰
上仰

〇元禄二年
〇元禄二年
〇元禄二年

盛年

在左之由 文方中

如子
其保
其全

元禄二年
〇元禄二年
〇元禄二年

二月廿八日 高野山 普賢菩薩 二月廿六日 壬午年七月

廿二日 高野山 普賢菩薩 二月廿六日 壬午年七月

孝 普賢菩薩 二月廿六日 壬午年七月

盛洋 左 右 文 帝

改 朔 女

享保十六年二月廿六日 壬午年七月

享保十七年二月廿六日 壬午年七月

享保十八年二月廿六日 壬午年七月

享保十九年二月廿六日 壬午年七月

享保二十年二月廿六日 壬午年七月

享保二十一年二月廿六日 壬午年七月

享保二十二年二月廿六日 壬午年七月

享保二十三年二月廿六日 壬午年七月

享保二十四年二月廿六日 壬午年七月

享保二十五年二月廿六日 壬午年七月

享保二十六年二月廿六日 壬午年七月

享保二十七年二月廿六日 壬午年七月

絶 續

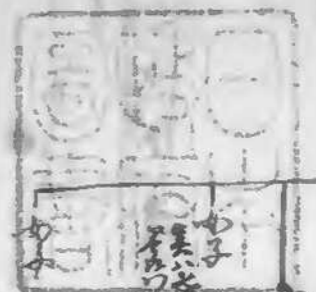
絶 續

絶 續

予より少子文代永年九月八日迄之喪食板日十二三年四月十三日迄

豊後 宇布 下等

予より



中子 其首... 心胸... 豊後...

盛福 其首... 左...

中子

盛房



小書... 初... 授... 十一年...

東福門...

東福門... 東福門...

東福門... 東福門...

東福門...

東福門... 東福門...

東福門... 東福門...

東福門... 東福門...

東福門...

板橋志摩 政部

[Faint, illegible handwriting on the left page]

[Faint, illegible handwriting on the right page]

